事務事業及び予算の執行実績

（令和６年度分「一部、令和７年度分を含む」）

静 岡 県 立 浜 松 工 業 高 等 学 校

〒433-8567　浜松市中央区初生町1150番地

電　話　　０５３－４３６－１１０１
ＦＡＸ　　０５３－４３７－９９８８

目　　次

事　務　事　業　の　概　要

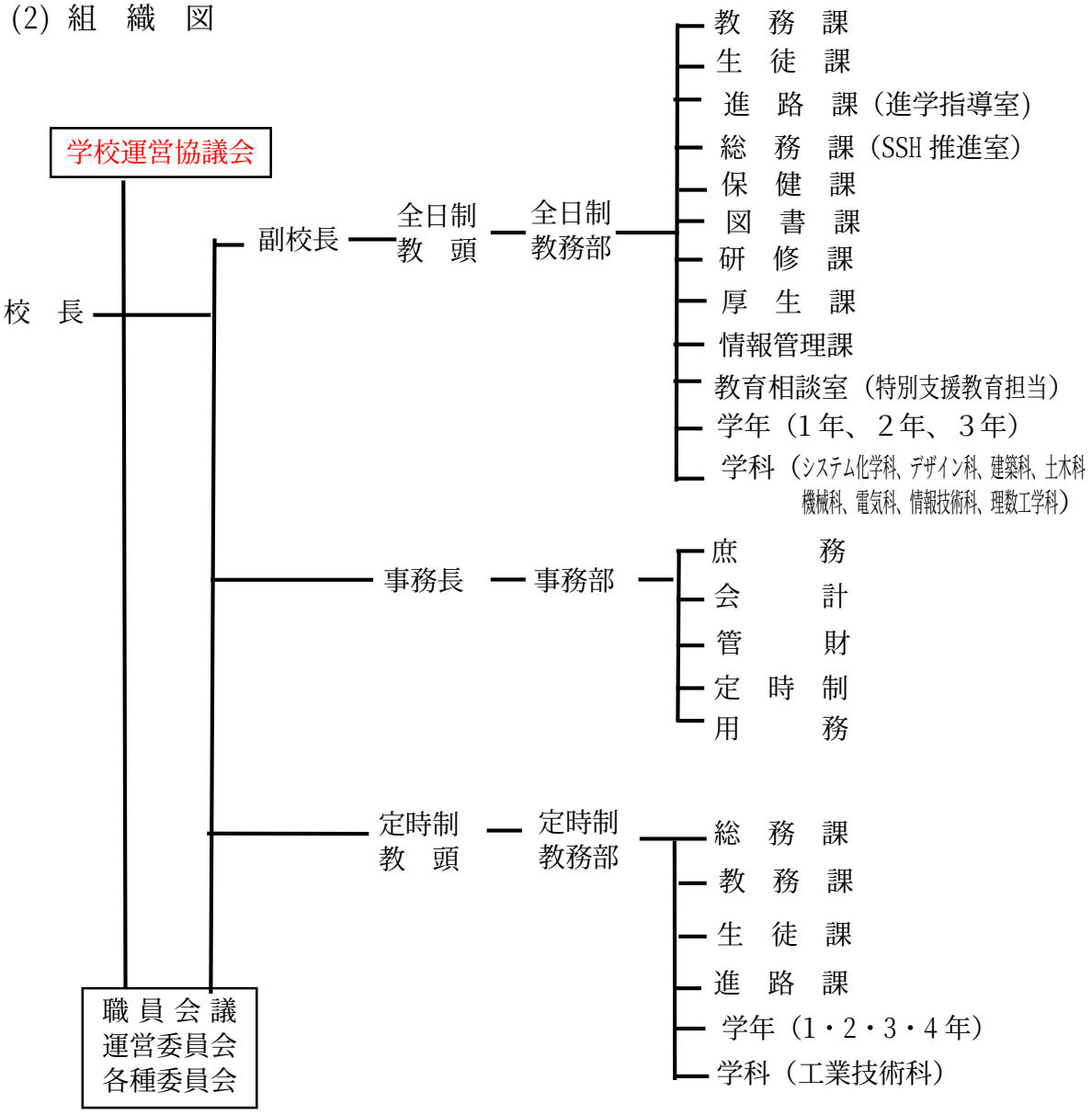
1　概　　況

(1) 学校の沿革

大正 4年 4月　浜松市馬込町、静岡県工業試験場浜松分場内に静岡県染織講習所（染色科、機織科、図案科）を設置
7年 3月　静岡県告示第83号をもって、静岡県浜松工業学校を設立し５年制（予科２年、本科３年）色染仕上科、紡織科を設置
7年 4月　浜松市馬込町、静岡県工業試験場浜松分場にて授業を開始
8年 4月　浜松市北寺島町に移転
9年 4月　別科（２年制図案科）を増設
10年 4月　実業学校令改正に伴い予科を廃し、本科を５年制とする。
13年 4月　建築科（２年制）を増設
15年 3月　図案科及び建築科を３年制とする。
昭和 5年 3月　図案科及び建築科を５年制とする。
14年 4月　機械科を増設
18年 4月　色染仕上科を工業化学科、図案科を木材工芸科と改称し４年制とする。
19年 4月　航空機科を増設し、木材工芸科を木材工業科と改称
20年 6月　戦災により校舎を全焼
20年12月　航空機科を機械科Ｂと改称し、浜松市葵町、元中部第113部隊兵舎を仮校舎とする。
22年 4月　機械科Ｂを電気科に変更
23年 4月　学制改革により、静岡県立浜松工業高等学校と改称。定時制課程（紡織科、機械科、電気科）を設置
23年 9月　浜松市北寺島町の新校舎に移転
24年 4月　全日制課程木材工業科を木材工芸科と改称
26年 4月　全日制課程に土木科を新設
35年 4月　定時制課程機械科１学級を増
37年 4月　全日制課程機械科１学級を増
38年 4月　全日制課程木材工芸科を工業デザイン科に、全日制課程と定時制課程の紡織科を繊維機械科と改称し、全日制課程工業化学科及び全日制課程電気科を１学級増
39年12月　浜松市初生町の新校舎に全日制課程移転
40年 2月　浜松市初生町の新校舎に定時制課程移転
40年 4月　定時制課程繊維機械科の募集を停止し、建設科を新設
46年 4月　定時制課程専修コース（機械、建築）を設置し、建設科を建築科に改称
48年 4月　全日制課程電気科を１学級減、繊維機械科を繊維工学科と改称、情報技術科を新設
49年 4月　全日制課程電気科を１学級増
50年 4月　全日制課程電気科を１学級減
56年 4月　全日制課程工業デザイン科をデザイン科と改称し、電気科を１学級増
57年 4月　全日制課程電気科１学級を減
58年 4月　全日制課程電気科１学級増として復元
平成 2年 4月　全日制課程繊維工学科を繊維システム科と改称
4年 4月　全日制課程工業化学科を１学級減
5年 4月　定時制課程機械科を１学級減とし、機械科、電気科、建築科の募集を

停止し、工業技術Ⅰ科、工業技術Ⅱ科、工業技術Ⅲ科を設置
9年 4月　全日制課程工業化学科をシステム化学科と改称。定時制課程工業技術Ⅰ科、工業技術Ⅱ科を工業技術Ⅰ・Ⅱ科と改称し１学級減
14年 4月　全日制課程電気科を１学級減
18年 4月　全日制課程繊維システム科の募集停止。定時制課程工業技術Ⅰ・Ⅱ科、工業技術Ⅲ科を工業技術科と改称し１学級減
20年 4月　全日制課程繊維システム科を廃止。定時制課程専修コースを廃止し、工業技術科建築専攻を新設
24年 4月　全日制課程に理数工学科（１学級）を新設
26年 4月　全日制課程電気科を１学級増
28年 4月　定時制課程工業技術科建築専攻を募集停止
31年 4月　全日制課程電気科を１学級減
スーパーサイエンスハイスクール（Ⅱ期）指定校となる
令和 5年 3月　部室棟新設
6年 3月　新工場棟新設
6年 4月　スーパーサイエンスハイスクール（Ⅲ期）指定校となる

(2) 組　織　図



2　目指す学校像

全日制の課程

(1) スクール・ミッション

校訓「質実勤勉」を柱に、人間性豊かにして、勤労を尊び、知性と創造性に富む工業技術者を育成する学校として、確かな技術力と分野横断的な応用力、そしてＳＳＨ（Super Science High school）研究指定校として、鍛え抜かれた実践力と科学に基づく思考力を身につけるためのカリキュラムを通じて、静岡県西部地域の製造業を支える人材にとどまらず、Society5.0で実現する社会を支える最先端科学技術者の育成を目指す。

(2) スクール・ポリシー

グラデュエーション・ポリシー	カリキュラム・ポリシー	アドミッション・ポリシー
(1)各学科の分野での不可欠な学力と高度な知識・技能を持った人材 (2)社会に貢献しようとする意志を持ち、自ら創造力と専門性を高め続けることができる人材 (3)他者と協働できるコミュニケーション能力を持った人材	(1)基礎・基本の定着を確実にし、更に専門的な知識・技術の習得を目指した教育活動 (2)就職や進学に対応した柔軟な教育課程と科を超えた教育資源の活用による教育活動 (3)大学や産業界と連携し、実践的・体験的な学習を重視した教育活動	(1)知的好奇心を持ち、工業に関する学習や資格取得に積極的に取り組む意欲がある生徒 (2)学校や社会の規則を尊重して行動し、協力して学校生活に取り組む意欲がある生徒 (3)学校行事・生徒会活動・部活動に明確な目標を持ち、積極的に取り組む意欲がある生徒

(3) スクール・ポリシー具現化の柱

ア　専門的な知識や技術を習得せさせるとともに、様々な資格取得のためのサポートをすることで、生徒一人ひとりの進路実現を図る。
イ　就職や進学に対応した柔軟な科目選択や、科を越えた教育資源の活用（クロス・カリキュラム）による分野横断的な応用力を身につける授業を展開する。
ウ　創造力や課題解決能力の育成を図るため、大学や産業界、行政と連携し実践的・体験的な学習を重視した教育活動を行う。
エ　学習の成果、研究結果等を学校内外に発信することで、生徒が主体的に考え、自ら行動する資質を育む。
オ　一人一台端末のＩＣＴ機器を駆使し、生徒がよりわかりやすい授業となるよう授業改善を図る。
カ　学校の活動をより外部機関や義務教育関係者等に知ってもらうため広報活動の一層の充実を図る。
キ　生徒の基本的生活習慣を保証するための安全かつ安心な学校づくりを推進する。
ク　教育活動が円滑に展開できるよう教育環境・職場環境の整備を図る。
ケ　静岡県教員育成指標に基づいた教職員の資質向上を図る。

定時制の課程

(1) スクール・ミッション

定時制の課程では、県西部地方唯一の工業科を有する学校として、創造性や課題解決能力を育む「課題研究」と、旋盤・溶接・CAD・電気工事・電気回路等の幅広い工業の「実習」を通して、人間性豊かにして、勤労を尊び、知性と創造性に富む地域を支える工業技術者を育成する。

(2) スクール・ポリシー

グラデュエーション・ポリシー	カリキュラム・ポリシー	アドミッション・ポリシー
(1)地域社会の持続的な発展を担う技術者・技能者に必要な学び続ける力と確かな知識・技能を持った人材 (2)主体的に社会に関わろうとする意思を持ち、社会的・職業的に自立した人材 (3)他者と協働しながら、自ら考え、表現し、行動できる人材	(1)基礎的・基本的な学びから徐々に専門的な知識・技能の習得を目指すと共に活用するための教育活動 (2)生徒の多様な特性に対応した、丁寧かつ安心安全な学習環境による教育活動 (3)地域の産業界と連携し、自己有用感を高める教育活動	(1)地域産業の持続的な発展を担う技術者・技能者を目指し、学ぶ力と知識・技能の向上を目指す生徒 (2)専門的な知識・技能の習得の一環として、検定試験や資格取得等に積極的に取り組み、それを活用する意欲のある生徒 (3)学校や社会の規則を尊重し、他の生徒と協働して学校生活に取り組む意欲のある生徒

(3) スクール・ポリシー具現化の柱

ア　基礎・基本を大切にした工業技術の学びをとおして、創造力や問題解決能力を育成する。
イ　自己有用感を高め、社会に貢献できる職業観・勤労観を育成する。
ウ　産業界や外部機関と連携することも含め実践的技術・技能レベルの向上を目指す。
エ　基本的生活習慣の確立を図り、社会で通用する人材を育成する。
オ　どの場面でも安全を意識した「いのちの教育」を実践する。
カ　学校の活動をより外部機関や義務教育関係者等に知ってもらうため広報活動の一層の充実を図る。
キ　教育活動が円滑に展開できるよう教育環境・職場環境の整備を図る。
ク　静岡県教員育成指標に基づいた教職員の資質向上を図る。

3　監査対象期間の年度別学校経営の取組等

(1) 令和６年度の取組目標への評価及び成果と課題

＜全日制＞　　※重点目標はゴシック体で記載

	取組目標	成果目標	達成状況	評価	成果と課題
ア	**Society5.0で実現する社会を支える技術者の育成**	課題研究による学科での授業連携	学科を越えた課題研究を実施して工業科間の取組ができた。	B	工業科と普通科との教科横断的な取組についてさらに研究を進めていく。
		課題研究・工業情報数理での具体的な実践	SSH Ⅲ期目初年度として課研開発として、３年生全員が下級生にポスター発表を実施した。	A	課研開発を全校生徒が参加した。データサイエンスを軸に教科の融合、教育資源の活用をめざす。
		ＳＰＩ対策、外部検定試験の受講推進 「教育課程は自分の進路希望にかなうものになっている」と回答する生徒90%以上	外部検定試験の受講促進を促した。アンケート結果は目標を達成。 アンケートの結果は、94%。	A	共通テストの出願等、デジタル化への対応を進めたい。

		複数の科が関わる課題研究の実践 「ＳＳＨ事業を何か受講したことがあるか」に「はい」と回答する生徒 75%以上	全校生徒を対象にすべての課題研究の発表の場を設けたが、SSH として取り組んでいる意識が希薄なようである。 アンケートの結果は、63%。	B	教室に SSH の目標を掲示するなど意識の高揚を図る。 モノを作り上げるだけでなく、作り上げたモノを客観的に分析・評価する姿勢の育成をめざす。
イ	基礎・基本の定着と知的好奇心の育成	「先生の説明はわかりやすい」「質問に丁寧に答えてくれる」と回答する生徒 90%以上	生徒のアンケート結果は 89%以上だった。基礎・基本の定着を軸に今後も授業改善を進めていく。	A	ICT を活用しながら主体的に取り組んでいく授業展開を今後も検討していく。
		生徒の年間平均貸出冊数２冊／人以上 「本校は読書指導に熱心に取り組んでいる」と回答する生徒 70%以上	電子図書館の活用をすすめることができた。生徒寸感文を通して年間一人一冊以上の読書推進をはかることができた。 生徒の年間平均貸出冊数１.2 冊／人。 アンケートの結果は、60%。	B	生徒の実態把握をして、読書を促す企画を立案実施する。 校舎移転に伴う館内蔵書整備を今後継続的に行っていく。
ウ	生徒会を中心とした生徒主体の活動拡大	学校行事における生徒の満足度 90%以上 「ボランティアに関心がある」と回答する生徒 85%以上	学校行事については概ね達成。 アンケートの結果は、94%。 ボランティア活動への関心は不十分。 アンケートの結果は、73%。	B	浜工祭、体育大会、球技大会を生徒会中心に無事に実施することができた。予定されたボランティア活動が天候不良で実施できなかった。代替策などが今後の課題である。
エ	学校ホームページの有効活用及び効果的な広報活動の展開	１日の平均訪問回数 800 以上	４月から１月までの平均で 912 回の訪問があり、昨年度の 721 回を上回ることができた。	A	各学科、部活動等で頻繁に更新を行った成果があった。更新の少ない部活動や分掌に働きかけていく。また、生徒と共にＳＮＳの効果的な利用を行う。

オ	多様化する生徒の進路選択の把握と希望する進路先への導き	就職内定率100％、国公立大学合格者20人以上 「進路についての情報提供は十分である」と回答する生徒90%以上	就職内定率100%は達成。 国公立大学合格者、 現在27人。 アンケートの結果は、92%。	A	HANDYを利用した求人票のデジタル開示方法を有効に活用する。
カ	**基本的生活習慣の確立と安全・安心な学校づくりの推進**	重大な交通事故ゼロ	自転車街頭指導は計画的に実施。 重大な事故に限りなく近い交通事故が発生。	B	命を落とす重大な事故は起きなかったが自転車による事故が後を絶たない。ヘルメット着用を推奨していくとともに、交通ＫＹＴを実施するなど事故防止についても注意喚起していく。
		防災訓練の年３回実施	９月の防災訓練が猛暑のため実施できなかった。その他は実施。	A	自衛隊と連携した拠点訓練は実践的で生徒の反応も良く効果が高かった。
		「あいさつがきちんとできる」と回答する生徒90%以上	十分に達成できたものと考える。 アンケートの結果は、97%。	A	「あいさつができる」と肯定的な回答をした生徒が多かった。授業を含めた全ての学校生活で声掛けを継続する。
		保健だよりの発行年間10回以上 職員による安全点検年６回実施	いずれも計画通り発行、実施することができた。保健だよりはＣラーニング活用により作業を効率的に行うことができた。	A	保健だよりのデジタル配信も今後検討していく考えがあるが、著作権のことなど慎重に進める必要がある。
		教育相談室員による面談年間20回以上	相談室で100件、SCで50件超の面談を実施した。	B	外部機関とのよりスムーズな連携と情報共有を進める。
		授業中や放課後の活動において重大事故ゼロ	命にかかわる重大事故ゼロであったが、怪我はあった。	B	全科でＫＹシートを活用し、安全に心がけるように促した。
キ	教育活動が円滑に展開できる教育環境・職場環境の整	学校開校日のネットワーク稼働率100%	機器故障などで一時的に通信できない場合もあったが、迅速に対処できた。	B	稼働自体は問題ないが、無線の通信が不安定な場面もあり、早急な改善が必要である。

	備	学校の施設（機械・備品等）について「満足できる」と回答する生徒80%以上と 新たな施設建設工事における事故ゼロ	優先順位に基づき計画的な執行を行ったが、施設・設備とも老朽化に予算が追いつかず「満足できる」までには至らなかった。 今年度完了した工場棟解体工事において、事故ゼロであった。 アンケートの結果は、施設69%、設備76%。	B	規定予算で執行できないものは予算要求を積極的に行い、何件かは課題解決に至った。 今後の校舎新築工事においても引き続き安全管理を徹底する。
		学校給食に関しての肯定意見85%以上	概ね達成できている。 食堂・購買は生徒にとって利用しやすい状態になっている。と肯定的な回答92%。	A	個人的な好みの意見は改善が難しいが、アンケート結果を踏まえて給食業者とも話をしながら少しでも納得のいく給食提供をしていきたい。
		夏季休暇取得100% 時間外勤務前年度比90%の実現	一日以上の休暇取得は88%であった。 前年度一人当たり368.03時間が381.71時間となり103.7%に増加した。	B	夏季休暇は、10月まで取得できることを周知する。 教職員の労働災害が４件発生したので再発防止に努める。
ク	生徒の意欲を引き出す指導方法の確立	授業公開での教職員相互授業参観２回以上 生徒授業アンケート２回以上 ＩＣＴ機器を活用して教育活動を展開する教職員100%	概ね達成できている。さらに、教員間でＩＣＴ機器の活用実績や、オンライン授業の情報共有化を推進したい。 ＩＣＴ機器を活用している教員72%。	B	授業公開での相互授業参観は100%に近い参観率を達成することができた。今後は、２回実施した授業アンケートのデータを精査し、より良い授業展開に役立てたい。

＜定時制＞　※重点目標はゴシック体で記載

	取組目標	成果目標	達成状況	評価	成果と課題
ア	ものづくりの過程で創造力や問題解決能力を育成する。	「実験実習に興味を持って取り組むことができた」と回答する生徒の割合 90%以上	「実験実習に興味を持って取り組むことができた」と回答する生徒の割合 95.1%	A	95%以上の生徒が実習に興味を持って取り組むことができた。合同文化祭では課題研究の発表を行うことができ大変好評を得た。
イ	**外部機関と連携した就労支援を在籍時より行い、社会での有用感を育て勤労の意欲と社会に貢献できる実感を持たせる。**	「今年 90 日以上働くことができた」と回答する生徒の割合 60%以上	「今年 90 日以上働くことができた」と回答する生徒の割合 65.6%	A	60%を超えたが昨年度より低下した。就業支援事業を通して協力してくれる企業が増え工業系のアルバイトをした生徒は７名となり昨年度より増加した。
ウ	生徒が資格等を意欲的に取得する体制づくりを構築する。	計算技術検定の合格者 25 人以上 情報技術検定の合格者 10 人以上（延べ人数）	計算技術検定合格者延 32 人、情報技術検定合格者延 13 人	A	計算技術検定の合格率は向上したが、情報技術検定はＣ言語の問題が本校生徒には難しかった。しかし、目標合格者数になんとか到達した。
エ	**あいさつの励行やほめる声かけにより生徒が自己肯定感を高めるとともに学校が安全安心な場所として認識することで愛校心を育む。**	「あいさつがしっかりできた」と回答する生徒の割合 90%以上	「あいさつがしっかりできた」と回答する生徒の割合 98.4%	A	お互いの顔を見て挨拶できる生徒が増えてきた印象。気持ちの良い挨拶ができるとなお良いので学校全体で雰囲気づくりを継続する。
		スクールカウンセラーの活用や養護教諭の助言等、専門的な立場からの指導を仰ぐ。	スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーの活用事例なし	B	生徒たちの活用はなかった。ただ来年度はスクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーに加え特別支援教育指導員や学習支援員の活用を考えている。
		「大きな声で校歌を歌えた」と回答する生徒の割合 60%以上	「大きな声で校歌を歌えた」と回答する生徒の割合 67.2%	B	生徒なりに一生懸命歌おうという姿が見えてきた。集会での声量は徐々に大きくなっている。
		保健だより発行年間 10 回以上	デジタル化を図り、紙ベースと合わせ合計 12 回発行した。	A	保健だよりの発行を紙ベースからデジタル化への移行にチャレンジした。日常的かつ最新の情報提供を心掛けつつ、健康の意識付けに努めた。
		授業中や放課後の活動において重大事故ゼロ	授業中や放課後の活動において重大事故ゼロ	A	複数の教員で授業を行えたため、複数の目で生徒の作業を見れたことと、ＫＹＴトレーニングを定期的に行い、怪我や事故予防の啓発を行ったことが良かったのではないか。

オ	自分の命は自分で守る意識の高揚と交通マナーの徹底を図る。	交通安全に関する事業年４回、防災に関する事業年３回、薬学講座年１日の開催。重大な交通事故ゼロ。	車両点検２回 ・交通安全講話２回、防災訓練３回、薬学講座１回、重大な交通事故なし	A	昨年度に比べ大きな交通事故は無いが自転車と車の接触事故により自転車に乗っていた生徒が足にけがをした。交通法規の改正に伴う変更点などを生徒へ周知を行った。自転車走行時におけるヘルメット着用の有用性や通学路危険箇所の周知を徹底し、交通ルールの指導方法を再度見直す必要がある。
カ	学校ホームページ及びＳＮＳを利用して効果的な広報活動を展開する。	中学生の学校見学 30 人以上、中学からの問い合わせ 40 件以上	中学生の学校見学 35 人、過年度生の学校見学４人、中学からの問い合わせ延べ 40 件	A	中学生等対象の学校見学では、工業を学ぶ魅力を伝えながら安全が最も大切であることを伝えることができた。また、ホームページをリニューアルしたり、ＳＮＳで学校の様子を発信したりすることができた。
キ	教育活動が円滑に展開できる教育環境・職場環境の整備を行う。	夏季休暇 100％取得 時間外勤務前年度比 90%の実現	夏季休暇 100％取得 時間外勤務前年度比 80%を実現した	A	夏季休暇 100%取得を達成した上に普段の業務でも時間外勤務前年度比 80％に抑えることができた。
ク	生徒の意欲を引き出す指導方法の確立を図る。	ＩＣＴ機器を活用して教育活動を展開する教職員 100% 学校に「信頼できる先生がいる」と回答する生徒 80%以上	ＩＣＴ機器を活用して教育活動を展開する教職員 100% 学校に「信頼できる先生がいる」と回答する生徒 90.2%	A	Chromebook を生徒一人一台使用させることができたことにより、授業内でＩＣＴ機器を活用する場面が見られた。行きたい学校づくり事業でＡＩドリルを導入したため、来年度はＡＩドリル活用法について模索する必要がある。 また、生徒からの信頼については授業やクラス運営を中心に十分なコミュニケーションが取れており、多くの生徒の学習意欲向上につながった。

（2）令和７年度の取組目標・達成方法・成果目標

＜全日制＞　　※重点目標はゴシック体で記載

	取組目標	達成方法（取組手段）	成果目標	担当部署
ア	**SSHⅢ期目で実現する「令和の日本型学校教育」における、社会を支える技術者の育成**	学科を超えた教育資源の活用（課研開発、浜工ラボ）	課題研究を筆頭に教科・学科間連携による授業の実践	科長会
		工業科目と共通科目を超えた授業連携	より探究的な課題研究の具体的な実践	ＳＳＨ推進室
		創立 110 周年の節目に、より歴史と伝統を感じて自己効力感を高める。	創立 110 周年記念誌を制作する。	総務課
		ＳＴＥＡＭｓ教育の推進	「ＳＳＨ事業をとおして成長できた」に「はい」と回答する生徒 75%以上	ＳＳＨ推進室

		入試の多様化に対応できる体制の確立	ＳＰＩ対策、外部検定試験の受講推進 「教育課程は自分の進路希望にかなうものになっている」と回答する生徒 90%以上	進学対策室
イ	基礎・基本の定着と知的好奇心の育成	各教科が日頃から基礎・基本を定着させるための指導実施	「先生の説明はわかりやすい」「質問に丁寧に答えてくれる」と回答する生徒 90%以上	教務課
		学校図書館の利用促進と有効活用（電子図書）	生徒の年間平均貸出冊数 ２冊／人以上 「本校は読書指導に熱心に取り組んでいる」と回答する生徒 70%以上	図書課
ウ	生徒会を中心とした生徒主体の活動拡大	生徒会が企画運営した学校行事の充実	学校行事における生徒の満足度 90%以上 「ボランティアに関心がある」と回答する生徒 85%以上	生徒課
エ	学校ホームページの有効活用及び効果的な広報活動の展開	浜工ニュースを毎日掲載することによる学校の魅力発信	１日の平均訪問回数 800 以上	学科 学年 課 部活動
オ	多様化する生徒の進路選択の把握と希望する進路先への導き	進路計画に基づき、個々の生徒の進路希望状況に応じた進路指導の実施	就職内定率 100%、国公立大学合格者 25 人以上 「進路についての情報提供は十分である」と回答する生徒 90%以上	進路課 ３学年
カ	**基本的生活習慣の確立と安全・安心な学校づくりの推進**	毎月の自転車街頭指導の実施及び危険個所での指導徹底	重大な交通事故ゼロ	生徒課
		危機管理マニュアルに則った防災体制の整備	防災訓練の年３回実施	総務課
		気持ちのよいあいさつができる生徒の育成	「あいさつがきちんとできる」と回答する生徒 90%以上	生徒課 全職員
		健康と環境整備への高い意識を涵養する取組	保健だよりの発行年間 10 回以上，職員による安全点検年６回実施	保健課
		生徒の心の健康状態の把握と援助を要する生徒に対する早期対応	教育相談室員による面談 年間 20 回以上	教育相談室
		未然に事故が防げるようＫＹＴの実施とヒヤリハットを共有する。	授業中や放課後の活動において重大事故ゼロ ヒヤリハット集の共有	教務課 全職員
キ	教育活動が円滑に展開できる教育環境・職場環境の整備	情報ネットワーク環境の維持管理	学校開校日のネットワーク稼働率 100%	情報管理課
		優先順位に基づいた学校施設の整備	学校の施設（機械・備品等）について「満足でき	事務室

			る」と回答する生徒 80%以上と 新たな施設建設工事における事故ゼロ	
		生徒が利用しやすい食堂・購買の整備	学校給食に関しての肯定意見 85%以上	厚生課
		働きやすい職場環境を目指した職務内容の精選と職務分担の見直し 服務に関する研修会の実施 効率的な業務遂行を（ムダをなくす、整理整頓）する	夏季休暇取得 100% 時間外勤務前年度比 90%の実現 服務事故０件	運営委員会
ク	生徒の意欲を引き出す指導方法の確立	授業公開、生徒による授業アンケート、ＩＣＴ機器の活用及び教員育成指標に基づいた研修の推進による授業改善	授業公開での教職員相互授業参観２回以上 生徒授業アンケート２回以上 ＩＣＴ機器を活用して教育活動を展開する教職員 100%	研修課 管理職

＜定時制＞　　※重点目標はゴシック体で記載

	取組目標	達成方法（取組手段）	成果目標	担当部署
ア	ものづくりの過程で創造力や問題解決能力を育成する。	基本的な技術の定着を図りながら、先取的な技術を学ぶ機会を設定する。課題解決型の授業を積極的に取り入れ、生徒自身でものごとを解決できる能力を高める。	「実験実習に興味を持って取り組むことができた」と回答する生徒の割合 90%以上	工業科
イ	**外部機関と連携した就労支援を在籍時より行い、社会での有用感を育て勤労の意欲と社会に貢献できる実感を持たせる。**	自己有用感を伴う工業系定時制生徒としてのメタ認知の確立を支援し、商工会議所や企業との連携を通じて実際にものづくりの工程を学ぶ機会を設定する。	「今年 90 日以上働くことができた」と回答する生徒の割合 60%以上	進路課 教務課 各学年
ウ	生徒が資格等を意欲的に取得する体制づくりを構築する。	わかりやすい授業を実践することで授業の中で取得できる資格の合格率アップを目指す。難易度の高い資格の取得も喚起し、放課後の補習等で対応する。	計算技術検定の合格者 25 人以上（延べ人数）。 情報技術検定の合格者 10 人以上（延べ人数）	工業科 国語科
エ	**あいさつの励行やほめる声かけにより生徒が自己肯定感を高めるとともに学校が安全安心な場所と**	毎日の登校時に挨拶運動を行うとともに、日常的に生徒との緊密なコミュニケーションを図る。	「あいさつがしっかりできた」と回答する生徒の割合 90%以上	生徒課

	して認識することで愛校心を育む。	生徒を常に観察し、必要に応じて個別の支援体制を確立する。	ｽｸｰﾙｶｳﾝｾﾗｰやｽｸｰﾙｿｰｼｬﾙﾜｰｶｰの活用 専門的な立場からの指導を仰ぐ。 通級指導の実施	管理職 総務課 各学年
		集会や学校行事等生徒が集合する時間を活用し、校歌を歌う機会を増やす。	「大きな声で校歌を歌えた」と回答する生徒の割合 60%以上	総務課
		生徒に対する健康と環境衛生への高い意識を涵養する。	保健だより発行年間 10 回以上	総務課
		未然に事故が防げるようＫＹＴの実施とヒヤリハットを共有する。	授業中や放課後の活動において重大事故ゼロ	教務課 工業科 全職員
オ	自分の命は自分で守る意識の高揚と交通マナーの徹底を図る。	車両点検、車両実技指導、交通安全講話、防災訓練等の実施を通して安全教育を推進する。	交通安全に関する事業年４回、防災に関する事業年３回、薬学講座年１日の開催。重大な交通事故ゼロ。	総務課 生徒課 各学年
カ	学校ホームページ及びＳＮＳの有効活用及び効果的な広報活動を展開する。	学校ホームページやＳＮＳの更新を定期的に行い、学校の魅力を発信する。	中学生の学校見学 30 人以上、SNS での情報発信年 50 回以上	パソコン利用委員会 管理職
キ	教育活動が円滑に展開できる教育環境・職場環境の整備を行う。	働きやすい職場環境を目指した職務内容の精選と職務分担の見直しを行う。	夏季休暇 100%取得 時間外勤務前年度比 90％の実現 服務事故０件	管理職
ク	生徒の意欲を引き出す指導方法の確立を図る。	ＩＣＴ機器の活用及び教員育成指標に基づいた研修の推進による授業改善 ＡＩドリルや通級指導をとおして個別最適な学習法を研究する。	ＩＣＴ機器を活用して教育活動を展開する教職員 100% 学校に「信頼できる先生がいる」と回答する生徒 80%以上	パソコン利用委員会 教務課

4　監査対象期間における特色ある取組

(1) 全日制

学科	令和６年度		令和７年度	
	取組概要	成果及び課題	取組概要	進捗状況
システム化学科	基礎学力の定着と学習意欲向上	・疑問を持つことから興味・関心へと繋げ、授業に取り組み、解決できるような授業を心がけた。	基礎学力の定着と学習意欲向上	・日頃目にしている化学的事象が学習と繋がり、疑問から解決へと発展していくような授業展開を図る。
	積極的な資格検定試験への取組み	・化学系学科のみならず、工業全般に関する資格検定の取得に挑戦させた。	積極的な資格検定試験への取組み	・生産現場に必要な知識を得られるような資格取得を推奨してく。
	工業技術の習得と「ものづくり」教育の育成	・化学とものづくりとの関係を考えさせ、工業のどこの部分で化学が携わることができるのかを考えさせた。	工業技術の習得と「ものづくり」教育の育成	・日本のものづくりが国際社会にどのように影響し発展しているのかを考えさせている。

学科	令和６年度		令和７年度	
	取組概要	成果及び課題	取組概要	進捗状況
デザイン科	基礎的・専門的な知識と技術の向上	・幅広い学力を定着させ魅力ある授業づくりができるよう研究し展開した。 ・知的財産権について講師を招聘し、具体的な事例を学ぶことができた。	基礎的・専門的な知識と技術の向上	・幅広い学力を定着させ魅力ある授業づくりに資するよう、常に検証し、創造力、課題解決ができるよう研究し展開している。 ・知的財産権について外部講師を招聘し、具体的な事例を学ぼうとしている。
	主体的な問題解決能力の育成	・ユニバーサルデザインを理解し、「ふれあい」をテーマに卒業制作に臨んだ。 ・問題点を発見し、考えを深めていくため、ＲＡＣＥノートを活用し、アイディアの展開をした。 ・課題作品の質を向上することができた。	主体的な問題解決能力の育成	・ユニバーサルデザインを理解し、「ひろがる」をテーマに卒業制作に臨んでいる。 ・問題点を発見し、考えを深めていくため、ＲＡＣＥノートを活用し、アイディア展開をさせている。 ・課題作品の質が向上するように指導している。
	技能検定等への取組と合格率の向上	・検定合格率向上のため、指導内容の見直しを図り、レタリング技能検定３級やトレース技能検定１・２級では合格率を向上させることができた。 ・進路を考え、個々の資質・能力に応じた資格試験に取り組んだ。	技能検定等への取組と合格率の向上	・検定合格率向上のため、引き続き指導内容の見直しを図っている。 ・進路を考え、個々の資質・能力に応じた資格試験に取り組んでいる。
建築科	基礎的生活習慣の確立	・挨拶、服装など基本的生活習慣の確立と、提出物の期限前提出を徹底させた。	基本的生活習慣の確立	・挨拶・服装など基本的生活習慣の確立を目指すと共に提出物を期限までにしっかり出せるように習慣化指導をしている。
	基本的な技能・知識の確実な習得	・魅力ある授業づくりに資するよう、教員の指導力の向上に努めた。	基本的な技能・知識の確実な習得	・魅力ある授業づくりに資するよう、教員の指導力の向上に努めている。
	実践力と応用力の育成	・建設工事現場の見学を業界関係者と連携し、積極的に進めた。 ・問題解決能力を高めるため、多くの資格検定、設計コンペに挑戦させた。	実践力と応用力の育成	・建設工事現場の見学を建設業協会の協力を得ながら推し進めている。 ・問題解決能力を養うためにＲＡＣＥノートを活用する。
土木科	学習意欲の向上と継続的な学習習慣	・資格取得や検定試験に取り組み、多くの生徒が合格した。	学習意欲の向上と継続的な学習習慣	・静岡県浜松土木事務所と浜工どぼくらぶ講座を開催し、継続して学習を行っている。
	基礎基本の定着と専門教科への関心	・３学年とも現場見学会及び出前授業を実施した。	基礎基本の定着と専門教科への関心	・３学年とも現場見学会及び出前授業を計画している。
	基本的生活習慣の確立	・挨拶を積極的に行い、制服や実習時の服装などを指導した。	基本的生活習慣の確立	・服装及び挨拶など基本的生活習慣の確立を目指すとともに、提出物の期限内提出を指導している。

学科	令和６年度		令和７年度	
	取組概要	成果及び課題	取組概要	進捗状況
機　械　科	教育課程・実習内容の見直し	・実習内容の研究とともに指導書の改訂を進めた。	教育課程・実習内容の見直し	・実習内容の研究とともに指導書の改訂を進めている。
	基礎基本と自主性、主体性を育む	・挨拶、出欠、服装など基本的生活習慣の確立と、主体的・意欲的に学ぶ姿勢を取ることを指導した。	基礎基本と自主性、主体性を育む	・挨拶、出欠、服装など基本的生活習慣の確立と、主体的・意欲的に学ぶ姿勢を取ることができるよう指導している。
	学習意欲の高揚	・資格取得や検定試験に挑戦させた。	学習意欲の高揚	・資格取得や検定試験に意欲的に取り組める環境と指導体制の構築を進めている。
電　気　科	基本的生活習慣の育成	・服装・挨拶など基本的生活習慣の確立を目指して指導した。	基本的生活習慣の育成	・服装や挨拶、整理整頓、安全意識など基本的生活習慣の確立を目指して指導している。
	技術・技能の育成	・ものづくりを通して技術・技能の基礎を身につけさせた。	技術・技能の育成	・ものづくりや実習を通して、技術・技能の基礎を身につけさせている。
	自己実現を目指す学習目標	・進路選択につながるように明確な学習目標を設定できるよう指導した。 ・学習意欲の向上のため資格検定の取得を奨励した。	自己実現を目指す学習目標	・将来の進路を見据えた明確な学習目標を設定できるよう指導している。 ・学習意欲を高めるために、資格や検定の取得を積極的に奨励している。
情報技術科	実践技術力の育成	・基礎基本から系統立てて学ぶ座学と、実習・演習・課題と連携した授業を展開し、技術の定着と実践力を育成した。	実践技術力の育成	・基礎基本の定着と実践力育成を目的に、実習や演習では協働性を反映したり、探求的思考を促す内容で授業展開している。
	進路に直結した学習指導の展開	・培った知識や技術の自覚を促し、進路実現に向けて更に伸長すべき学習に主体的に臨む姿勢を育成した。	進路に直結した学習指導の展開	・授業内で培った技術技能の自覚を促し、目指す進路に相応しい素養習得状況の検証を通じて、進路実現に主体的に望む姿勢を育成している。
	社会に貢献する意欲の育成	・社会の技術動向を授業に盛り込み、技術の果たす役割と、情報技術者の使命を自覚できる授業を展開し、勤労観や社会観を育成した。	社会に貢献する意欲の育成	・実社会で活用されている情報技術を実感させ、技術を通じて社会貢献する喜びと意欲を育成している。
理数工学科	自ら学ぶ姿勢の育成	・予習・復習の重要性を理解させ、授業とサテライン講座の効果的な利用方法の指導をした。	自ら学ぶ姿勢の育成	・授業の大切さ、予習復習の必要性を理解させ、授業と映像授業を活用した自主学習の効果的な利用方法の指導をしている。
	自己実現を目指す進学指導の確立	・家庭学習の大切さや大学受験に対する心構えをＬＨＲや学科指導を通して指導した。 ・進路目標を明確にするため、研究施設への訪問、大学のオープンキャンパスへの参加、海外研修、進路資料を用いた進学指導や模擬試験の結果分析を利用した学習指導などを行った。	自己実現を目指す進学指導の確立	・家庭学習の大切さや大学受験に対する心構えをＬＨＲや学科指導を通して指導している。 ・進路目標を明確にするため、研究施設への訪問、大学のオープンキャンパスへの参加、海外研修、進路資料や模擬試験の結果分析等を利用した進路学習指導などを行っている。

(2) 定時制

学科	令和６年度		令和７年度	
	取組概要	成果及び課題	取組概要	進捗状況
工業技術科	創意工夫を凝らしたものづくり教育の推進と実習時の安全教育の徹底	・４年間の学習の集大成として課題研究発表会を設定した。日頃の授業が成果に繋がることを示すことができた。 ・工業、防災、交通の３つの分野を連携させた安全教育を行った。生徒の安全意識の向上が実感できた。引き続き３分野連携した安全教育を実施する。	創意工夫を凝らしたものづくり教育の推進と実習時の安全教育の徹底	・課題研究を軸にした学習成果を発表する場面を設定し、生徒の自己肯定感に資する指導を充実させる。 ・「工業」「防災」「交通」を融合した安全教育を進める。昨年度とは内容を変え、多角的に生徒の安全意識向上に繋げていく。 ・未然に事故が防げるようＫＹＴの実施とヒヤリハットを共有する。
	あたたかみのある定時制教育の推進	・地元浜松のトップリーダーの講話を聞き、進路を考える上でのヒントを得た。 進路、資格、道徳に係わる書籍を購入し、定時制図書室を充実させた。	あたたかみのある定時制教育の推進	・地域に貢献する人材を育成する視点に基づく教育活動を展開する。また、講師招請事業や家庭訪問・雇用主への訪問について積極的に実施する。
	学校設定科目「キャリアベーシック」の推進	・集団を習熟度別に分けることにより、身に付けさせるべき能力を明確化した授業構成をすることができた。	学校設定科目「キャリアベーシック」の推進	・習熟度に応じた学習内容をブラッシュアップするため、指導と評価の一体化をはかり、授業改善を促進していく。

５　教職員について

(1)令和６年度異動状況

【全日制】

補職名／区分	校長	副校長	教頭	教諭	実習教諭	養護教諭	主任実習助手	実習助手	事務長	主幹	主査	主任	主事	教諭（臨）	実習教諭（臨）	養護教諭（臨）	任期付短時間勤務教諭	実習助手（臨）	外国語指導講師	非常勤講師	スクールカウンセラー	部活動指導員	非常勤労務職員	非常勤嘱託員	計
転出者			1	7		1								1											10
退職者				8			1							2		1		1		4				1	18
転入者			1	12		1								1											15
新任者				2				1						3			1	1		3		1		1	13
差引増減				△1			△1	1						1		△1	1			△1		1			

【定時制】

補職名／区分	校長	副校長	教頭	教諭	実習教諭	養護教諭	主任実習助手	実習助手	事務長	主幹	主査	主任	主事	教諭（臨）	実習教諭（臨）	養護教諭（臨）	任期付短時間勤務教諭	実習助手（臨）	外国語指導講師	非常勤講師	スクールカウンセラー	部活動指導員	非常勤労務職員	非常勤嘱託員	計
転出者				2									1												3
退職者																									
転入者				1							1														2
新任者				1																2					3
差引増減											1		△1							2					2

(2) 現　員　数

（令和７年６月 30 日現在）

補職名／区分	校長	副校長	教頭	教諭	実習教諭	養護教諭	主任実習助手	実習助手	事務長	主幹	主査	主任	主事	教諭（臨）	実習教諭（臨）	任期付短時間勤務教諭	実習助手（臨）	外国語指導講師	非常勤講師	スクールカウンセラー	部活動指導員	非常勤労務職員	非常勤嘱託員	計
全日制	1	1	1	72	8	2	2	2	1	1	2	1	1	5	4	1	2	1	13	1	3	3	2	130
定時制			1	9	1	1					1				1				10					24
計	1	1	2	81	9	3	2	2	1	1	3	1	1	5	5	1	2	1	23	1	3	3	2	154

(3)健康管理について

ア　結核検診・生活習慣病検診・指定年齢検診・人間ドック・婦人科検診・脳ドックなど、適切な健康診断の受診を勧め、疾病の早期発見に努めた。令和６年度も、健康管理医・衛生管理者と連携を図り、職員の健康保持に努めた。

イ　定期健康診断の完全実施を目指すとともに要精密者に対して再検査の受診を促した。令和６年度も６月に生活習慣病検診を実施し、精密検査の指示を受けた職員に対しては、精密検査等を受診するよう勧めた。要治療者に対しても継続治療を促した。

ウ　令和６年度は、職員安全衛生委員会を年12回開き、教職員の長時間労働や健康管理等について協議した。長時間労働の職員に対して、自己診断チェックリストに記入してもらい、体調の確認や健康管理医への面談について勧めた。

エ　勤務時間外の業務時間については、週１日定時退勤日を設け、計画的・効率的な業務に心がけ、業務時間の削減により職員の健康管理に努めている。

オ　令和６年度健康診断実施状況

項　　目	対　　象　　者	対象者数	受診者数	摘　要
生活習慣病検診 結核検診	全職員 （指定年齢検診、人間ドック受診者を除く）	39 人	39 人	
指定年齢検診	40 歳、45 歳、50 歳、55 歳、59 歳	14 人	14 人	
人間ドック	対象年齢の希望者	68 人	68 人	

(4) 教職員の研修について

教職員の資質向上を目指し、授業力等の向上を支援するため、各種研修会への参加を奨励するとともに、自主的な研修を積極的に行えるように努めた。

ア　全日制

(ｱ) 令和６年度

研 修 の 目 的	研　　修　　内　　容	成果及び課題
多様な生徒に対する指導の在り方についての研修 （２年目／２年）	不登校や発達障害、精神的な不安定など生徒の困りごとを理解し、指導力の向上を図るため全職員で研修を行う。	全教員を対象として、外部講師による研修会を２回行った。職員の意識は高く意欲的に取り組めた。しかし、十分な理解ができたわけではないので次年度に向けてさらに研修したい。
授業力の向上	生徒の学習態度・内容の理解を深めるため、年２回の校内公開授業週間を実施する。授業参観カードの活用。	互いに授業参観をすることにより授業力の向上に繋がることができた。授業参観カードの活用により、自己の欠点を見出すことができている。

(ｲ) 令和７年度

研 修 の 目 的	研　修　内　容
生徒指導・教育活動に関する法的知識の研修 （１年目／２年）	学校現場の法的課題への対応力を高め、生徒の権利を尊重しつつ適切な指導を行うため、法的知識の理解力、適切な対応力を養う。
授業力の向上	生徒の学習態度・内容の理解を深めるため、年２回の校内公開授業週間を実施する。新学習指導要領に合わせた授業力向上の研究授業を行う。

イ　定時制

(ｱ) 令和６年度

研修の目的	研修内容
ＡＩの基本的な概念や技術を理解し、教育現場でどのように活用できるか学ぶ。	ＡＩが実際に教育現場でどのように使われているかの具体例を学んだり、効果的に活用できたりするようツールを使っての演習を行う。また、倫理的側面や社会的影響についても深く考える機会を持つ。

(ｲ) 令和７年度

研修の目的	研修内容
通級指導で困り感のある生徒が日常生活を円滑に過ごせるように支援する。	通級指導の意義や対象、指導方法について学び、実際の支援の工夫や配慮事項を共有する。また、具体的な事例を通して理解を深め、今後の支援に役立てる知見を得る。

6　防災対策について

(1) 全日制

緊急時に備え、教職員及び生徒の組織を整備し、その機能が迅速かつ効果的に発揮されるように防災対策を委員会で検討する。また、防災訓練、施設・設備の点検整備を定期的に実施して、緊急時の安全確保を図る。

ア　令和６年度

(ｱ) 実施状況

訓　練　名	実施日	訓　練　内　容　等	参加人数
集団下校編成	R６．４.18	集団下校別人員確認 緊急時の行動について	全校生徒
消防団の編成訓練	R６．４.19	消防団組織及び係ごとの活動内容 人員点呼を確実にする。	全校生徒
総合防災訓練	R６．８.30	職員緊急連絡網伝達訓練 地震予知情報発令時の避難訓練 県教育委員会との連携	猛暑のため、避難訓練は中止
地域防災の日	R６.12．１	各地区で実施される訓練への参加を呼びかける。	376人参加 参加率35.9%
防災訓練	R６.12.16	地震発生時の緊急避難訓練 火災発生時の緊急避難訓練及び初期消火活動訓練	全校生徒
防災機材の点検	R６.12.16	応急対策要員による防災機材の点検	総務課職員３人で実施

(ｲ) 実績（成果）

各訓練においては、生徒たちは真剣に取り組むことができた。また、地域での訓練にも参加しており生徒の防災意識向上となった。

イ　令和７年度

(ｱ)実施計画（予定）

訓　練　名	実施日	訓　練　内　容　等	参加人数
集団下校編成	R７．４.17	集団下校別人員確認 緊急時の行動について	全校生徒
消防団の編成訓練	R７．４.18	消防団組織及び係ごとの活動内容 人員点呼を確実にする。	全校生徒
総合防災訓練	R７．８.29	職員緊急連絡網伝達訓練 地震予知情報発令時の伝達訓練 県教育委員会との連携	全校生徒 全日職員
地域防災の日	R７.12．１	各地区で実施される訓練への参加を呼びかける。	全校生徒 全日職員

訓　練　名	実 施 日	訓　練　内　容　等	参 加 人 数
防災訓練	R７.12.16	地震発生時の緊急避難訓練 火災発生時の緊急避難訓練及び初期消火活動訓練	全校生徒
防災機材の点検	R７.11.27	応急対策要員による防災機材の点検	担当職員 防災委員

(2) 定時制

ア　令和６年度

(ｱ) 地域防災訓練等への参加

職場や地域で行われる防災訓練等に積極的に参加するように、保護者に通知し、ホームルーム等でも指導を行った。

(ｲ)実施状況

訓　練　名	実 施 日	訓　練　内　容　等	参 加 人 数
防災隊編成	R６．４.12	防災訓練の意義と役割 集団下校体制づくり	78 名
地震発生時の緊急避難訓練	R６．６.28	緊急地震速報からの行動 速報から本震までの時間	78 名
防災訓練	R６．９．６	避難訓練集団下校地区別編成	77 名
防災訓練 （起震車体験）	R６.12.17	防災担当による講和 起震車を用いた防災訓練	77 名

(ｳ) 実績（成果）

６月、９月は地震発生時の対応、12 月は起震車を用いた訓練を行った。

(ｴ) 評価と改善

地域防災訓練の生徒参加者が少なかった。防災に関する取組を充実させ、防災意識を高めると同時に、地域防災訓練参加者を増やしていく。

イ　令和７年度

(ｱ) 実施計画（予定）

訓　練　名	実 施 日	訓　練　内　容　等	参 加 人 数
防災隊編成	R７．４.11	防災訓練の意義と役割 集団下校体制づくり	74 名
地震発生時の緊急避難訓練（防災訓練）	R７．６.27	緊急地震速報からの行動 速報から本震までの時間	73 名
防災訓練	R７．８.29	避難訓練集団下校地区別編成	73 名
防災訓練 （起震車体験）	R７.12.18	防災担当による講話 起震車を用いた防災訓練	73 名

7　学校開放について

(1) 授業等の公開

教育内容に関する情報公開の一環として、学校教育に支障がない範囲で授業等の公開を行った。

ア　全日制

(ｱ) 令和６年度

講　座　名	実　施　日	日　数	対　象　者	使用教室
保護者授業参観	R６．５.25 R６．６.12 R６.10.18 R６.11.19	４日	本校生徒 保護者	校舎全般
中学生・保護者による学校見学	R６.10.19	１日	中学生 中学生保護者	校舎全般

(ｲ) 令和７年度（予定）

講　座　名	実　施　日	日　数	対　象　者	使用教室
保護者授業参観	R７．５.24 R７．６.10 R７.10.24 R７.11.19	４日	本校生徒 保護者	校舎全般
中学生・保護者による学校見学	R７.10.11	１日	中学生 中学生保護者	校舎全般

イ　定時制

(ｱ)令和６年度

講座名	実施日	日数	対象者	使用教室
公開授業週間	R６．６.19～６.25 R６.11.12～11.18	５日 ５日	保　護　者 雇　用　主	校舎全般
学校見学会 学校説明会・個別相談会	R６．４月～ R６.11.12	随時 １日	中　学　生 保　護　者 中学校教員	校舎全般

(ｲ)令和７年度（予定）

講座名	実施日	日数	対象者	使用教室
公開授業週間	R７．６.18～６.24 R７.11.10～11.14	５日 ５日	保　護　者 雇　用　主	校舎全般
学校見学会 学校説明会・個別相談会	R７．６月～ R７.11.11	随時 １日	中　学　生 保　護　者 中学校教員	校舎全般

(2)施設開放

ア　令和６年度

施　設　名	種　　目	延利用日数	利用人員	電気料
テニスコート	硬式テニス	219日	1,528人	－　円
第２体育館	卓　　球	50日	905人	22,109円
	バレーボール	36日	360人	12,605円
	エイサー	42日	1,241人	17,458円
アーチェリー場	アーチェリー	2日	18人	－　円
普通教室	各種検定ほか	17日	1,097人	－　円

イ　令和７年度（令和７年６月30日現在）

施　設　名	種　　目	延利用日数	利用人員	電気料
テニスコート	硬式テニス	34日	200人	－　円
第２体育館	卓　　球	12日	198人	5,335円
	バレーボール	5日	50人	2,176円
	エイサー	12日	390人	2,144円
普通教室	各種検定ほか	5日	248人	－　円

事務執行の根拠法令調

項　　目	根　　拠　　法　　令
1　学校教育に関すること	教育基本法（第 1 条、第 2 条） 学校教育法（第 1 条、第 2 条、第 3 条、第 50 条、第 51 条、第 52 条、第 60 条） 学校教育法施行規則 学校保健安全法（第 5 条） 静岡県立学校設置条例 静岡県立高等学校学則 高等学校学習指導要領 理科教育振興法（第 11 条） 理科教育振興法施行令
2　学校の管理・運営に関すること	学校教育法（第 137 条） 地方教育行政の組織及び運営に関する法律（第 33 条） 静岡県立学校管理規則 教育公務員特例法（第 21 条、第 22 条） 学校保健安全法（第 15 条、第 27 条） 静岡県立学校職員安全衛生管理規程 静岡県立学校の施設等の開放に関する要綱 学校図書館法（第 3 条、第 4 条） 静岡県立学校処務規程 静岡県立学校の授業料等の徴収に関する条例 静岡県立学校授業料等徴収規則 高等学校等就学支援金の支給に関する法律 高等学校等就学支援金の支給に関する法律施行規則 高等学校等修学支援事業費補助金（奨学のための給付金）交付要綱 静岡県手数料徴収条例 静岡県高等学校等教育資金及び高等学校等奨学金貸与規則 静岡県高等学校定時制課程及び通信制課程修学資金貸与規則 高等学校遠距離通学費補助金交付要綱 高等学校定時制課程及び通信制課程教科書等購入費補助金交付要綱 静岡県情報公開条例施行規則 独立行政法人日本スポーツ振興センター法（第 16 条、第 17 条） 社会教育法（第 43 条、第 45 条、第 47 条、第 48 条） 夜間課程を置く高等学校における学校給食に関する法律（第 3 条） 高等学校定時制課程夜食費負担金取扱要綱

学　校　施　設　の　概　要

1　面積及び所有区分

（令和７年６月 30 日現在）

区分		面積 ㎡	所有内訳 県有 ㎡	国有 ㎡	市町村有 ㎡	後援会有 ㎡	民有 ㎡	摘要
学校敷地		80,976.12	80,917.72				58.40	
内訳	校舎敷地	34,587.72	34,587.72					
	運動場敷地	46,330.00	46,330.00					
	その他の敷地	58.40					58.40	
校舎		建 4,572.78 延 14,430.43	4,572.78 14,430.43					
体育館		建 2,341.16 延 4,455.95	2,341.16 4,455.95					1階武道場 食堂
武道場		建 延						
その他の建物		建 6,095.84 延 6,406.71	5,566.58 5,877.45			529.26 529.26		弓道場ほか
生活館		建 768.94 延 1,048.17	768.94 1,048.17					
プール		1個	1個					50m×20.8m
職員住宅		8戸	8戸					

2　配置・規模等

(1) 校舎等の配置図

(2) 学校施設の規模等（法面・演習林等を除く）

区　　分	学 校 敷 地 面 積	校 舎 延 面 積	運 動 場 面 積
当　　校	80,976.12 ㎡	14,430.43 ㎡	46,330.00 ㎡
県 平 均	45,574.48 ㎡	9,782.41 ㎡	22,506.84 ㎡

在 籍 生 徒 調

(全日制)　　(令和7年6月30日現在)

学年	学科別 / 区分	機械科 定員	男子	女子	計	電気科 定員	男子	女子	計	情報技術科 定員	男子	女子	計	建築科 定員	男子	女子	計
1年	入学者	80	77	7	84	40	39	3	42	40	37	5	42	40	18	24	42
	増加																
	減少																
	現在		77	7	84		39	3	42		37	5	42		18	24	42
2年	入学者	80	80	4	84	40	42		42	40	37	5	42	40	28	14	42
	増加																
	減少						1		1		1		1				
	2年時当初		80	4	84		41		41		36	5	41		28	14	42
	増加						(1)		(1)								
	減少															1	1
	現在		80	4	84		42		42		36	5	41		28	13	41
3年	入学者	80	79	3	82	40	39	3	42	40	32	9	41	40	21	20	41
	増加																
	減少						1		1						1		1
	2年時当初		79	3	82		38	3	41		32	9	41		20	20	40
	増加																
	減少						(1)		(1)		1		1			1	1
	3年時当初		79	3	82		37	3	40		31	9	40		20	19	39
	増加																
	減少																
	現在		79	3	82		37	3	40		31	9	40		20	19	39
合計		240	236	14	250	120	118	6	124	120	104	19	123	120	66	56	122

(全日制)　　(令和7年6月30日現在)

学年	学科別 / 区分	土木科				システム化学科				デザイン科				理数工学科				合計			
		定員	男子	女子	計	定員	男子	女子	計	定員	男子	女子	計	定員	男子	女子	計	定員	男子	女子	合計
1年	入学者	40	38	4	42	40	23	19	42	40	6	36	42	40	34	8	42	360	272	106	378
	増加																				
	減少																				
	現在		38	4	42		23	19	42		6	36	42		34	8	42		272	106	378
2年	入学者	40	38	4	42	40	17	25	42	40	1	37	38	40	23	7	30	360	266	96	362
	増加																				
	減少			1	1														2	1	3
	2年時当初		38	3	41		17	25	42		1	37	38		23	7	30		264	95	359
	増加																		(1)		(1)
	減少																			1	1
	現在		38	3	41		17	25	42		1	37	38		23	7	30		265	94	359
3年	入学者	40	32	5	37	40	19	23	42	40	4	24	28	40	36	1	37	360	262	88	350
	増加																				
	減少										1	1	2		2		2		5	1	6
	2年時当初		32	5	37		19	23	42		3	23	26		34	1	35		257	87	344
	増加																				
	減少		1		1														(1) 2	1	(1) 3
	3年時当初		31	5	36		19	23	42		3	23	26		34	1	35		254	86	340
	増加																				
	減少																				
	現在		31	5	36		19	23	42		3	23	26		34	1	35		254	86	340
合計		120	107	12	119	120	59	67	126	120	10	96	106	120	91	16	107	1,080	791	286	1,077

(定時制)　　(令和7年6月30日現在)

学年	学科別 / 区分	工業技術科 定員	男子	女子	計	合計 定員	男子	女子	合計
1年	入学者	40	15	5	20	40	15	5	20
	増加		(1)		(1)		(1)		(1)
	減少								
	現在		16	5	21		16	5	21
2年	入学者	40	20		20	40	20		20
	増加		(3)	(1)	(4)		(3)	(1)	(4)
	減少		(1) 5	1	(1) 6		(1) 5	1	(1) 6
	2年時当初		17		17		17		17
	増加								
	減少								
	現在		17		17		17		17
3年	入学者	40	28	4	32	40	28	4	32
	増加								
	減少		(3) 5	(1)	(4) 5		(3) 5	(1)	(4) 5
	2年時当初		20	3	23		20	3	23
	増加		(1)	1	(1) 1		(1)	1	(1) 1
	減少								
	3年時当初		21	4	25		21	4	25
	増加								
	減少		1		1		1		1
	現在		20	4	24		20	4	24
4年	入学者	40	18	3	21	40	18	3	21
	増加								
	減少								
	2年時当初		18	3	21		18	3	21
	増加		(1)		(1)		(1)		(1)
	減少		(1) 3	1	(1) 4		(1) 3	1	(1) 4
	3年時当初		15	2	17		15	2	17
	増加								
	減少		1		1		1		1
	3修卒		4	1	5		4	1	5
	4年時当初		10	1	11		10	1	11
	増加								
	減少								
	現在		10	1	11		10	1	11
合計		160	63	10	73	160	63	10	73

入学志願者及び入学者数調

(全日制)

区分		令和3年度									令和4年度								
学科別		機械科	電気科	情報技術科	建築科	土木科	システム化学科	デザイン科	理数工学科	計	機械科	電気科	情報技術科	建築科	土木科	システム化学科	デザイン科	理数工学科	計
生徒定員 (A)		80	40	40	40	40	40	40	40	360	80	40	40	40	40	40	40	40	360
募集者数 (B)		80	40	40	40	40	40	40	40	360	80	40	40	40	40	40	40	40	360
志願者数	男	77	37	40	30	22	19	4	40	269	77	47	53	24	33	21	3	27	285
	女	4	1	12	12	10	17	39	5	100	4	1	7	15	5	18	45	6	101
	計 (C)	81	38	52	42	32	36	43	45	369	81	48	60	39	38	39	48	33	386
受検者数	男	77	35	38	30	21	19	4	38	262	77	47	50	24	33	21	3	25	280
	女	4	1	12	12	10	17	38	5	99	4	1	7	15	5	17	45	6	100
	計 (D)	81	36	50	42	31	36	42	43	361	81	48	57	39	38	38	48	31	380
合格者数	男	76	39	28	28	28	19	4	35	257	79	40	37	25	35	23	2	25	266
	女	4	1	12	12	10	17	36	5	97	4	1	4	16	5	17	39	5	91
	計 (E)	80	40	40	40	38	36	40	40	354	83	41	41	41	40	40	41	30	357
志願倍率(C)／(B)		1.01	0.95	1.30	1.05	0.80	0.90	1.08	1.13	1.03	1.01	1.20	1.50	0.98	0.95	0.98	1.20	0.83	1.07
受検倍率(D)／(B)		1.01	0.90	1.25	1.05	0.78	0.90	1.05	1.08	1.00	1.01	1.20	1.43	0.98	0.95	0.95	1.20	0.78	1.06
入学者数	男	76	39	28	28	28	19	4	35	257	79	40	37	25	35	23	2	25	266
	女	4	1	12	12	10	17	36	5	97	4	1	4	16	5	17	39	5	91
	計 (F)	80	40	40	40	38	36	40	40	354	83	41	41	41	40	40	41	30	357
充足率(F)／(A)		1.00	1.00	1.00	1.00	0.95	0.90	1.00	1.00	0.98	1.04	1.03	1.03	1.03	1.00	1.00	1.03	0.75	0.99

(全日制)

区分		令和5年度									令和6年度								
学科別		機械科	電気科	情報技術科	建築科	土木科	システム化学科	デザイン科	理数工学科	計	機械科	電気科	情報技術科	建築科	土木科	システム化学科	デザイン科	理数工学科	計
生徒定員 (A)		80	40	40	40	40	40	40	40	360	80	40	40	40	40	40	40	40	360
募集者数 (B)		80	40	40	40	40	40	40	40	360	80	40	40	40	40	40	40	40	360
志願者数	男	84	40	34	21	32	20	4	40	275	82	46	39	29	40	18	1	25	280
	女	3	4	9	20	5	24	24	1	90	4	0	6	16	5	26	37	7	101
	計 (C)	87	44	43	41	37	44	28	41	365	86	46	45	45	45	44	38	32	381
受検者数	男	84	40	33	21	32	20	4	40	274	82	46	39	29	40	18	1	25	280
	女	3	4	9	20	5	24	24	1	90	4	0	6	16	5	26	37	7	101
	計 (D)	87	44	42	41	37	44	28	41	364	86	46	45	45	45	44	38	32	381
合格者数	男	79	39	32	21	32	19	4	36	262	80	42	37	28	38	17	1	23	266
	女	3	3	9	20	5	23	24	1	88	4	0	5	14	4	25	37	7	96
	計 (E)	82	42	41	41	37	42	28	37	350	84	42	42	42	42	42	38	30	362
志願倍率(C)／(B)		1.09	1.10	1.08	1.03	0.93	1.10	0.70	1.03	1.01	1.08	1.15	1.13	1.13	1.13	1.10	0.95	0.80	1.06
受検倍率(D)／(B)		1.09	1.10	1.05	1.03	0.93	1.10	0.70	1.03	1.01	1.08	1.15	1.13	1.13	1.13	1.10	0.95	0.80	1.06
入学者数	男	79	39	32	21	32	19	4	36	262	80	42	37	28	38	17	1	23	266
	女	3	3	9	20	5	23	24	1	88	4	0	5	14	4	25	37	7	96
	計 (F)	82	42	41	41	37	42	28	37	350	84	42	42	42	42	42	38	30	362
充足率(F)／(A)		1.03	1.05	1.03	1.03	0.93	1.05	0.70	0.93	0.97	1.05	1.05	1.05	1.05	1.05	1.05	0.95	0.75	1.01

(全日制)

区分		令和7年度								
学科別		機械科	電気科	情報技術科	建築科	土木科	システム化学科	デザイン科	理数工学科	計
生徒定員 (A)		80	40	40	40	40	40	40	40	360
募集者数 (B)		80	40	40	40	40	40	40	40	360
志願者数	男	88	42	44	23	45	25	7	38	312
	女	7	3	5	25	7	21	44	8	120
	計 (C)	95	45	49	48	52	46	51	46	432
受検者数	男	88	42	44	23	45	25	7	38	312
	女	7	3	5	25	7	21	44	8	120
	計 (D)	95	45	49	48	52	46	51	46	432
合格者数	男	77	39	37	18	38	23	6	34	272
	女	7	3	5	24	4	19	36	8	106
	計 (E)	84	42	42	42	42	42	42	42	378
志願倍率(C)／(B)		1.19	1.13	1.23	1.20	1.30	1.15	1.28	1.15	1.20
受検倍率(D)／(B)		1.19	1.13	1.23	1.20	1.30	1.15	1.28	1.15	1.20
入学者数	男	77	39	37	18	38	23	6	34	272
	女	7	3	5	24	4	19	36	8	106
	計 (F)	84	42	42	42	42	42	42	42	378
充足率(F)／(A)		1.05	1.05	1.05	1.05	1.05	1.05	1.05	1.05	1.05

入学志願者及び入学者数調

(定時制)

区　　分		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
学　科　別		工業技術科	工業技術科	工業技術科	工業技術科	工業技術科
生徒定員 (A)		40	40	40	40	40
募集者数 (B)		40	40	40	40	40
志願者数	男	15	18	31	22 (2)	16
	女	2	3	4	0	4 (1)
	計 (C)	17	21	35	22 (2)	20 (1)
受検者数	男	14	18	31	22 (2)	16
	女	2	3	4	0	4 (1)
	計 (D)	16	21	35	22 (2)	20 (1)
合格者数	男	14	18	28	20 (0)	15
	女	2	3	4	0	4 (1)
	計 (E)	16	21	32	20 (0)	19 (1)
志願倍率(C)／(B)		0.43	0.53	0.88	0.55	0.50
受検倍率(D)／(B)		0.40	0.53	0.88	0.55	0.50
入学者数	男	14	18	28	20	15
	女	2	3	4	0	5
	計 (F)	16	21	32	20	20
充足率(F)／(A)		0.40	0.53	0.80	0.50	0.50

卒 業 生 の 動 向 調

(全日制)

1 進 路 状 況

学科別			機械科			電気科			情報技術科			建築科			土木科		
年度			4年度	5年度	6年度	4年度	5年度	6年度	4年度	5年度	6年度	4年度	5年度	6年度	4年度	5年度	6年度
卒業生徒数			81	80	81	41	38	40	40	38	41	41	36	40	40	38	39
内訳	(進学志願者)		(24)	(15)	(18)	(5)	(8)	(3)	(13)	(9)	(17)	(25)	(18)	(14)	(11)	(13)	(11)
	進学者	大学・短大	20	9	10	2	6	3	13	7	11	20	16	14	8	9	9
		専修・各種学校等	4	5	7	3	1			1	5	5	2		3	4	1
		小計	24	14	17	5	7	3	13	8	16	25	18	14	11	13	10
	就職者		57	65	63	36	30	37	27	29	24	16	18	26	29	25	28
	自営者																
	進学準備者			1	1		1			1	1						1
	その他																
合計			81	80	81	41	38	40	40	38	41	41	36	40	40	38	39

学科別			システム化学科			デザイン科			理数工学科			計		
年度			4年度	5年度	6年度	4年度	5年度	6年度	4年度	5年度	6年度	4年度	5年度	6年度
卒業生徒数			39	36	38	38	37	39	39	39	30	359	342	348
内訳	(進学志願者)		(16)	(15)	(9)	(24)	(26)	(24)	(38)	(37)	(30)	(156)	(141)	(126)
	進学者	大学・短大	6	10	4	8	13	8	33	30	27	110	100	86
		専修・各種学校等	10	4	4	12	11	13	4	5	2	41	33	32
		小計	16	14	8	20	24	21	37	35	29	151	133	118
	就職者		23	21	29	14	11	15	1	2		203	201	222
	自営者													
	進学準備者			1	1	4	2	3	1	2	1	5	8	8
	その他													
合計			39	36	38	38	37	39	39	39	30	359	342	348

2 求 人 状 況

区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度
就職希望者数	203	201	222
求人数	1,738	1,762	1,572
求人倍率	8.56	8.77	7.08

3 資 格 取 得 状 況

（令和6年度）

学科別		機械	電気	情報	建築	土木	化学	デザイン	理数工学	計
卒業生徒数		81	40	41	40	39	38	39	30	348
実用英語技能検定	準1級								1	1
	2 級				2				5	7
	準2級		3	10	1	1		3	6	24
日本漢字能力検定	2 級					3	1		3	7
	準2級	1		2		8	2	2		15
	3 級	1				4		1	1	7
初級CAD検定					39					39
基本情報技術者				14					1	15
応用情報技術者				2						2
第1種電気工事士			23							23
第2種電気工事士			39							39
第3種電気主任技術者			6							6
建築積算士補					18					18
2級土木施工管理技術検定						13				13
2級建築施工管理技術検定					32					32
計算技術検定	3 級	54	40	36	36	39				205
レタリング技能検定	2 級							22		22
	3 級							24		24
トレース技能検定	1 級							10		10
	2 級							33		33
	3 級							39		39
機械製図検定		63								63
基礎製図検定		38								38
情報技術検定	2 級		1	38						39
	3 級	50	39		36	33	38			196
危険物取扱者	乙種1類						2			2
	乙種2類						1			1
	乙種3類	1					2			3
	乙種4類	1	2		1		11			15
	乙種5類						1			1
	乙種6類						1			1
公害防止管理者	水質四種						1			1
技能検定建築大工	2 級				2					2
	3 級				5					5
技能検定電気機器組み立て技能士	シーケンス制御作業		9							9
福祉住環境コーディネーター	2 級				1					1
	3 級				1					1
カラーコーディネーター	スタンダード				11					11
ファイナンシャル・プランニング技能士	3級		1							1
アマチュア無線技士	第三級		3							3
合計		209	166	102	185	101	60	134	17	974

卒 業 生 の 動 向 調

(定時制)

1 進 路 状 況

学科別			工業技術科		
年度			令和4年度	令和5年度	令和6年度
卒業生徒数			18	16	17
内訳	(進学志願者)		(3)	(3)	(4)
	進学者	大学・短大	1		3
		専修・各種学校等	2	3	
		小計	3	3	3
	就職者		13	10	11
	自営者		1		
	進学準備者			1	
	その他		1	2	3
合計			18	16	17

3 資 格 取 得 状 況

(令和6年度)

学科別		工業技術科
卒業生徒数		17
計算技術検定	3級	17
	4級	15
基礎製図検定		15
情報技術検定	3級	6
乙種4類危険物取扱者		2
技能検定3級(テクニカルイラストレーション)		4
機械製図検定		7
合計		66

生　徒　の　状　況

1　生徒の出身地域及び通学方法

(1) 出 身 地

（全日制）　（令和７年６月 30 日現在）　（単位:人）

市 町 名	浜松市	湖西市	磐田市	袋井市	その他	合　計
生 徒 数	946	43	65	13	10	1,077
構成比 %	87.9	4.0	6.0	1.2	0.9	100 %

（定時制）　（令和７年６月 30 日現在）　（単位:人）

市 町 名	浜松市	湖西市	磐田市	袋井市	その他	合　計
生 徒 数	67	1	2	1	2	73
構成比 %	91.8	1.4	2.7	1.4	2.7	100 %

(2) 通学方法

(全日制)　（令和７年６月 30 日現在）　(単位:人)

区　分	自転車	交通機関	徒 歩	その他	合　計
生 徒 数	966	76	14	21	1,077
構成比 %	89.7	7.1	1.3	1.9	100 %

(定時制)　（令和７年６月 30 日現在）　(単位:人)

区　分	自転車	交通機関	徒 歩	原付･四輪	その他	合　計
生 徒 数	39	5	4	23	2	73
構成比 %	53.4	6.8	5.5	31.5	2.8	100 %

(3) 生徒の年齢

(定時制)　　(令和7年4月1日現在)　(単位:人)

区分	15歳	16歳	17歳	18歳	19歳	20歳	21歳	22歳	23歳	24歳	25歳超	計
1年	20		1									21
2年		13	2	2								17
3年			21	2			1					24
4年				11								11
計	20	13	24	15			1					73

(4) 生徒の就業状況

(定時制)　　(令和7年6月30日現在)　(単位:人)

区分	建設	製造	卸小売	サービス業	各種学校	その他	無職	計
1年				2		1	18	21
2年	1			11			5	17
3年	2			15		1	6	24
4年	1			9			1	11
計	4			37		2	30	73

2　部（クラブ）の加入状況

（全日制）　（令和７年６月30日現在）　（単位:人）

区　　分		運　動　部	文　化　部	未加入者	計
部（クラブ)数		17	19		36
男子	1　年	188	84	0	272
	2　年	169	96	0	265
	3　年	150	104	0	254
	計　(A)	507	284	0	791
	構成比	64.1%	35.9%	0%	100%
女子	1　年	35	71	0	106
	2　年	29	65	0	94
	3　年	26	60	0	86
	計　(B)	90	196	0	286
	構成比	31.5%	68.5%	0%	100%
合計	(A+B)	597	480	0	1,077
	構成比	55.4%	44.6%	0%	100%

（定時制）　（令和７年６月30日現在）　（単位:人）

区　　分		運　動　部	文　化　部	未加入者	計
部（クラブ)数		7	3		10
男子	1　年	7	0	9	16
	2　年	7	3	7	17
	3　年	4	9	7	20
	4　年	7	2	1	10
	計　(A)	25	14	24	63
	構成比	39.7%	22.2%	38.1%	100%
女子	1　年	1	0	4	5
	2　年	0	0	0	0
	3　年	1	3	0	4
	4　年	0	0	1	1
	計　(B)	2	3	5	10
	構成比	20.0%	30.0%	50.0%	100%
合計	(A+B)	27	17	29	73
	構成比	37.0%	23.3%	39.7%	100%

県収入証紙により徴収した使用料及び手数料調

区　　分		令 和 6 年 度 件　数	令和７年度 (令和７年６月 30 日現在) 件　数
静岡県立高等学校入学検定料	全日制	432 件	0 件
	定時制	22 件	0 件

授　　業　　料　　収

(全日制の課程)

期別	月別	調定の状況								収納の	
		1年		2年		3年		計		納期内収納額	
		人員	調定額	人員	調定額	人員	調定額	人員	調定額		収納率
		人	円	人	円	人	円	人	円	円	%
一期	4										
	5										
	6										
	7	76	2,257,200	61	1,811,700	61	1,811,700	198	5,880,600	5,761,800	98.0
	8		0					0	0	0	
	計	76	2,257,200	61	1,811,700	61	1,811,700	198	5,880,600	5,761,800	98.0
二期	7										
	8										
	9		0					0	0		#DIV/0!
	10	91	4,504,500	60	2,970,000	63	3,118,500	214	10,593,000	10,494,000	99.1
	11		0		0		0	0	0		
	12	▲ 1	▲ 49,500			▲ 1	▲ 9,900	▲ 2	▲ 59,400	▲ 59,400	
	計	90	4,455,000	60	2,970,000	62	3,108,600	212	10,533,600	10,434,600	99.1
三期	12										
	1	89	3,524,400	60	2,376,000	62	2,455,200	211	8,355,600	8,236,800	98.6
	2										
	3										
	計	89	3,524,400	60	2,376,000	62	2,455,200	211	8,355,600	8,236,800	98.6
合計		255	10,236,600	181	7,157,700	185	7,375,500	621	24,769,800	24,433,200	98.6

納　　状　　況　　調

(令和6年度)

状況		異動者等の状況
納期後収納額	収入未済額	
円	円	A. 期首収納権利発生額＝　5,880,600 円 (期首人員　1年　76人×9,900円×3月＝2,257,200円 2年　61人×9,900円×3月＝1,811,700円 3年　61人×9,900円×3月＝1,811,700円)
		B. 収納権利増減(▲)額＝　0 円
		＜内訳＞
0	118,800	
118,800	0	
118,800	0	C. 収納必要額(A±B)＝　5,880,600 円
		A. 期首収納権利発生額＝　10,593,000 円 (期首人員　1年　91人×9,900円×5月＝4,504,500円 2年　60人×9,900円×5月＝2,970,000円 3年　63人×9,900円×5月＝3,118,500円)
		B. 収納権利増減(▲)額＝　▲ 59,400 円
		＜内訳＞ 10月31日:3年:転学▲1　1人×9,900円×1月＝▲9,900円 12月6日:就学支援金追加認定者▲1 1年:▲1人×9,900円×5月＝▲49,500円
0	99,000	
99,000	0	
99,000	0	C. 収納必要額(A±B)＝　10,533,600 円
		A. 期首収納権利発生額＝　8,355,600 円 (期首人員　1年　89人×9,900円×4月＝3,524,400円 2年　60人×9,900円×4月＝2,376,000円 3年　62人×9,900円×4月＝2,455,200円)
0	118,800	
118,800	0	B. 収納権利増減(▲)額＝　0 円 ＜内訳＞
118,800	0	C. 収納必要額(A±B)＝　8,355,600 円
336,600	0	D. 収納必要額＝　24,769,800 円

授　　業　　料　　収

(全日制の課程)

期別	月別	調定の状況								収納の	
		1年		2年		3年		計		納期内収納額	
		人員	調定額	人員	調定額	人員	調定額	人員	調定額		収納率
		人	円	人	円	人	円	人	円	円	%
一期	4										
	5			1	9,900			1	9,900	9,900	100.0
	6										
	計			1	9,900			1	9,900	9,900	100.0
二期	7										
	8										
	9										
	10										
	11										
	計										
三期	12										
	1										
	2										
	3										
	計										
合計				1	9,900			1	9,900	9,900	100.0

納　　状　　況　　調

(令和7年度)
令和7年6月30日現在

状況		異動者等の状況
納期後収納額	収入未済額	
円	円	A. 期首収納権利発生額＝　6,563,700 円 (期首人員　1年　74人×9,900円×3月＝2,197,800円 2年　89人×9,900円×3月＝2,643,300円 3年　58人×9,900円×3月＝1,722,600円)
0	0	
		B. 収納権利増減(▲)額＝　▲ 19,800 円 4月30日:2年:転学▲1　1人×9,900円×2月＝▲19,800円
0	0	＜内訳＞ C. 収納必要額(A±B)＝　6,543,900 円
		A. 期首収納権利発生額＝　円 (期首人員　1年　1人×9,900円×2月＝19,800円 1年　63人×9,900円×5月＝3,118,500円 2年　65人×9,900円×5月+1人×9,900円×2月＝3,237,300円 3年　79人×9,900円×5月＝3,910,500円)
		B. 収納権利増減(▲)額＝　円 ＜内訳＞
		C. 収納必要額(A±B)＝　円
		A. 期首収納権利発生額＝　円 (期首人員　1年　61人×9,900円×4月+1人×9,900円×1月＝2,425,500円 2年　62人×9,900円×4月＝2,455,200円 3年　77人×9,900円×4月＝3,049,200円)
		B. 収納権利増減(▲)額＝　円 ＜内訳＞
		C. 収納必要額(A±B)＝　円
0	0	D. 収納必要額＝　6,543,900 円

授　　業　　料　　収

(定時制の課程)

期別	月別	調定の状況										収納	
		1年		2年		3年		4年		計		納期内収納額	
		人員	調定額	人員	調定額	人員	調定額	人員	調定額	人員	調定額		収納率
		人	円	人	円	人		人	円	人	円	円	%
一期	4												
	5												
	6												
	7	2	16,200	3	24,300	0	0	2 1	16,200 2,700	7 1	56,700 2,700	43,200	72.7
	8	▲ 2	▲ 16,200					▲ 1	▲ 2,700	▲ 3	▲ 18,900	▲ 10,800	
	計	0	0	3	24,300	0	0	2	16,200	5	40,500	32,400	80.0
二期	7												
	8												
	9												
	10	1	13,500	2 1	27,000 10,800	1	13,500	4	54,000	8 1	108,000 10,800	91,800	77.3
	11			▲ 1	▲ 10,800			▲ 1	▲ 13,500	▲ 2	▲ 24,300	▲ 10,800	
	計	1	13,500	2	27,000	1	13,500	3	40,500	7	94,500	81,000	85.7
三期	12												
	1	1	10,800	2	21,600	1	10,800	3	32,400	7	75,600	64,800	85.7
	2												
	3							▲ 1	▲ 2,700	▲ 1	▲ 2,700		
	計	1	10,800	2	21,600	1	10,800	3	29,700	7	72,900	64,800	88.9
合計		2	24,300	7	72,900	2	24,300	8	86,400	19	207,900	178,200	85.7

納　　状　　況　　調

（令和6年度）

の　状　況		異　動　者　等　の　状　況
納期後収納額	収入未済額	
円	円	A. 期首収納権利発生額＝　56,700 円
		（期首人員　1年　2　人×2,700円　×　3　月＝　16,200 円
		2年　3　人×2,700円　×　3　月＝　24,300 円
		4年　2　人×2,700円　×　3　月＝　16,200 円）
		B. 収納権利増減(▲)額＝　▲16,200 円
		6月1日：就学支援金支給期間満了　1
0	16,200	4年　1　人×2,700円　×　1　月＝　2,700 円
		8月16日：就学支援金追加認定▲2
8,100	▲ 8,100	1年　2　人×2,700円　×　3　月＝　▲16,200 円
		8月16日：学び直し支援金追加認定▲1
8,100	0	4年　1　人×2,700円　×　1　月＝　▲2,700 円
		C. 収納必要額（A±B）＝　40,500 円
		A. 期首収納権利発生額＝　108,000 円
		（期首人員　1年　1　人×2,700円　×　5　月＝　13,500 円
		2年　2　人×2,700円　×　5　月＝　27,000 円
		3年　1　人×2,700円　×　5　月＝　13,500 円
		4年　4　人×2,700円　×　5　月＝　54,000 円）
		B. 収納権利増減(▲)額＝　▲13,500 円
		8月1日：転入　1
0	27,000	2年　1　人×2,700円　×　4　月＝　10,800 円
		11月19日：就学支援金追加認定▲1
13,500	▲ 13,500	4年　1　人×2,700円　×　5　月＝　▲13,500 円
		12月6日：就学支援金追加認定▲1
13,500	0	2年　1　人×2,700円　×　4　月＝　▲10,800 円
		C. 収納必要額（A±B）＝　94,500 円
		A. 期首収納権利発生額＝　75,600 円
		（期首人員　1年　1　人×2,700円　×　4　月＝　10,800 円
0	10,800	2年　2　人×2,700円　×　4　月＝　21,600 円
		3年　1　人×2,700円　×　4　月＝　10,800 円
10,800	0	4年　3　人×2,700円　×　4　月＝　32,400 円）
		B. 収納権利増減(▲)額＝　▲2,700 円
▲ 2,700	0	2月17日：退学▲1
		4年　1　人×2,700円　×　1　月＝　▲2,700 円
8,100	0	C. 収納必要額（A±B）＝　72,900 円
29,700	0	D. 収 納 必 要 額＝　207,900 円

授　　業　　料　　収

（定時制の課程）

期別	月別	調定の状況										収納	
		1年		2年		3年		4年		計		納期内収納額	
		人員	調定額	人員	調定額	人員	調定額	人員	調定額	人員	調定額		収納率
		人	円	人	円	人		人	円	人	円	円	%
一期	4												
	5												
	6												
	計												
二期	7												
	8												
	9												
	10												
	11												
	計												
三期	12												
	1												
	2												
	3												
	計												
合計													

納　　状　　況　　調

令和7年度
（令和7年6月30日現在）

の　状　況		異　動　者　等　の　状　況
納期後収納額	収入未済額	
円	円	A. 期首収納権利発生額＝　32,400 円 （期首人員　2年　1　人×2,700円 × 3 月 ＝　8,100 円 3年　2　人×2,700円 × 3 月 ＝　16,200 円 4年　1　人×2,700円 × 3 月 ＝　8,100 円） B. 収納権利増減(▲) 額＝　0 円 6月1日 就学支援金受給期間終了 4年　0　人×2,700円 × 1 月 ＝　0 円 C. 収納必要額（A±B）＝　32,400 円
		A. 期首収納権利発生額＝　0 円 （期首人員　1年　人×2,700円 × 5 月 ＝　0 円 2年　人×2,700円 × 5 月 ＝　0 円 3年　人×2,700円 × 5 月 ＝　0 円 4年　人×2,700円 × 5 月 ＝　0 円） B. 収納権利増減(▲) 額＝　円 C. 収納必要額（A±B）＝　0 円
		A. 期首収納権利発生額＝　0 円 （期首人員　1年　人×2,700円 × 4 月 ＝　0 円 2年　人×2,700円 × 4 月 ＝　0 円 3年　人×2,700円 × 4 月 ＝　0 円 4年　人×2,700円 × 4 月 ＝　0 円） B. 収納権利増減(▲) 額＝　円 C. 収納必要額（A±B）＝　0 円
		D. 収 納 必 要 額＝　32,400 円

預　金　調

（令和７年６月30日現在）

金融機関名	預金種類	口座番号	口　座　名　義　人	残高(円)	摘　　要
遠州信用金庫 半田支店	無利息型 普通預金	0054166	静岡県立浜松工業高等学校 資金前渡者　校長　野﨑真司	0	給与等振込用
静岡銀行 三方が原支店	無利息型 普通預金	0246506	（自振口） 静岡県立浜松工業高等学校 資金前渡者　校長　野﨑真司	0	公共料金引落用
残　高　合　計				0	

郵　券　等　受　払　調

（令和７年６月30日現在）
（単位：枚、円）

区分	種　類	令和６年度						令和７年度								摘　要
		繰　越		受　入		払　出		繰　越		受　入		払　出		差引現在高		
		枚数	金額	枚数	金額	枚数	金額	枚数	金額	枚数	金額	枚数	金額	枚数	金額	
郵券	10円券	26	260	0	0	5	50	21	210	0	0	12	120	9	90	文書送付
	26円券	0	0	29	754	0	0	29	754	0	0	2	52	27	702	文書送付
	84円券	30	2,520	0	0	1	84	29	2,436	0	0	2	168	27	2,268	文書送付
	120円券	14	1,680	0	0	5	600	9	1,080	0	0	4	480	5	600	文書送付
計			4,460		754		734		4,480		0		820		3,660	
プリペイドSIM	50GB 180日	0	0	2	18,480	2	18,480	0	0	0	0	0	0	0	0	通信
	100GB 365日	0	0	1	17,490	0	0	1	17,490	0	0	1	17,490	0	0	通信
計		0	0	3	35,970	2	18,480	1	17,490	0	0	1	17,490	0	0	

委託料等歳出予算執行状況節別集計表

節　名	会計	款	項	目	執行済額（円）		
					令和５年度	令和６年度	左のうち、５年度からの繰越額分
(12) 委託料	一般会計	教育費	教育委員会費	教育管理費		2,442,000	
	一般会計	教育費	高等学校費	高等学校管理費		685,184	
	一般会計	教育費	学校教育費	健康体育費		1,182,720	
計					16,583,086	4,309,904	0
(14) 工　事 請負費	一般会計	教育費	教育委員会費	教育管理費		2,013,000	
計					7,898,000	2,013,000	0
(16) 公有財産 購入費							
計					0	0	0
(17) 備　品 購入費	一般会計	教育費	高等学校費	高等学校管理費		720,090	
	一般会計	教育費	学校教育費	高校教育費		12,885,150	
計					13,111,285	13,605,240	0
(18) 負担金、 補助及 び交付金	一般会計	教育費	高等学校費	高等学校管理費		102,708,530	
	一般会計	教育費	学校教育費	健康体育費		34,726	
計					102,884,501	102,743,256	0
(21) 補償、補填 及び賠償金							
計					0	0	0

委託料等歳出予算執行状況節別集計表

（令和7年6月30日現在）

節　名	会計	款	項	目	執行済額（円）	うち、6年度からの繰越額分
(12) 委託料	一般会計	教育費	教育委員会費	教育管理費	475,200	0
	一般会計	教育費	高等学校費	高等学校管理費	12,760	0
	一般会計	教育費	学校教育費	健康体育費	197,120	0
計					685,080	0
(14) 工事 請負費						
計					0	0
(16) 公有財産 購入費						
計					0	0
(17) 備品 購入費						
計					0	0
(18) 負担金、 補助及 び交付金	一般会計	教育費	高等学校費	高等学校管理費	194,300	0
計					194,300	0
(21) 補償、補填 及び賠償 金						
計					0	0

委 託 料 に 関 す る 調

（令和６年度）

整理番号	委託業務名	受託者	当初設計金額	契約金額 当初額	契約金額 変更増減額	契約金額 計	契約締結方法	契約期間	支出年月日	金額	委託業務の内容	摘要
			円	円	円	円				円		
	(事務関係)									(9,147,600)		元長期
									R6.5.31	169,400		
									R6.6.28	169,400		浜松東
									R6.7.31	169,400		浜松城北工業
									R6.8.30	169,400	浜松工業	浜名
									R6.10.3	169,400	高校外10	浜北西
1	警備業務	セコム㈱	19,056,180	全体 10,164,000	0	全体 10,164,000	一般	R1.10.1 ～ R6.9.30	R6.10.31	169,400	校 事務室等機械警備業務	浜松湖北 浜松視覚特支 浜松聴覚特支 西部特支 浜北特支 浜松特支城北分校
				令和6年度分 1,016,400		令和6年度分 1,016,400			小計	1,016,400		
												６長期
									R6.11.29	237,600		
									R6.12.26	237,600		浜松東
									R7.1.31	237,600		浜松城北工業
									R7.3.14	237,600		浜名
									R7.3.31	237,600	浜松工業	浜北西
									R7.4.30	237,600	高校外11	浜松湖北
2	警備業務	セコム㈱	14,392,422	全体 14,256,000	0	全体 14,256,000	一般	R6.10.1 ～ R11.9.30			校 事務室等機械警備業務	浜松視覚特支 浜松聴覚特支 西部特支 浜北特支 浜松特支城北分校 浜松みをつくし特支
				令和6年度分 1,425,600		令和6年度分 1,425,600			小計	1,425,600		
										(788,480)		
									R6.5.31	98,560		
									R6.6.28	98,560		
									R6.7.31	98,560		
									R6.8.20	98,560		5長期
									R6.9.25	98,560	夜間定時	
									R6.10.25	98,560	制給食業	
									R6.11.29	98,560	務	
									R6.12.24	98,560		
									R7.1.21	98,560		
									R7.2.27	98,560		
									R7.3.28	98,560		
									R7.4.30	98,560		
3	夜間定時制給食業務	㈱キッチンセンター掛川屋	11,739,864	全体 3,548,230	0	全体 3,548,230	随契	R5.8.1 ～ R8.7.31				随契2号（不適）
				令和6年度分 1,182,720		令和6年度分 1,182,720			小計	1,182,720		

4	下水道放流水水質分析業務	㈱サンコー分析センター	94,490	94,490	0	94,490	随契	R6.5.1 ～ R7.3.31	R6.6.13 R6.8.30 R6.10.25 R6.12.26 R7.2.21 R7.4.15 小計	12,100 33,990 12,100 12,100 12,100 12,100 94,490	下水道放流水水質分析業務	随契2号（少額）
5	排水処理施設保守管理業務	㈱イーシーテクノ	154,000	154,000	0	154,000	随契	R6.4.22 ～ R7.3.31	R6.10.31 R7.2.28 小計	77,000 77,000 154,000	システム化学科実習用排水処理施設の保守管理業務	随契1号（不適）
6	産業廃棄物収集運搬業務	エス・ライナー㈱	13,200	13,200	0	13,200	随契	R6.4.22 ～ R6.6.28	R6.9.20	13,200	産業廃棄物収集運搬業務	随契1号（少額）
7	産業廃棄物処理業務	エコプラント㈱	74,800	74,800	0	74,800	随契	R6.4.22 ～ R6.6.28	R6.9.20	74,800	産業廃棄物処理業務	随契1号（少額）
8	産業廃棄物収集運搬業務	エス・ライナー㈱	13,200	13,200	0	13,200	随契	R6.7.16 ～ R6.10.31	R6.11.29	13,200	産業廃棄物収集運搬業務	随契1号（少額）
9	産業廃棄物処理業務	エコプラント㈱	74,800	74,800	0	74,800	随契	R6.7.16 ～ R6.10.31	R6.11.29	74,800	産業廃棄物処理業務	随契1号（少額）
10	産業廃棄物収集運搬業務	日本産業廃棄物処理㈱	61,781	61,781	0	61,781	随契	R7.1.27 ～ R7.3.28	R7.3.18	61,781	産業廃棄物（廃油）収集運搬業務	随契1号（少額）
11	産業廃棄物処理業務	三光㈱	99,913	99,913	0	99,913	随契	R7.1.27 ～ R7.3.28	R7.3.18	99,913	産業廃棄物（廃油）処理業務	随契1号（少額）
12	産業廃棄物収集運搬及び処理業務	㈱環吉	99,000	99,000	0	99,000	随契	R7.2.12 ～ R7.3.28	R7.3.27	99,000	産業廃棄物収集運搬・処分業務	随契1号（少額）
	事務関係計	12件								4,309,904		
	合計	12件								4,309,904		

委　託　料　に　関　す　る　調

（令和６年度）

整理番号	委託業務名	受託者	当初設計金額	契約金額 当初額	契約金額 変更増減額	契約金額 計	契約締結方法	契約期間	支出年月日	金額	委託業務の内容	摘要
参考1	消防用設備等保守点検業務	静岡県消防設備保守点検業協同組合		円 18,810,000	円 0	円 18,810,000		R6. 4. 1 ～ R7. 3.31			浜松湖北高校外14校消防用設備等の保守点検業務	浜松湖北高校
参考2	夜間定時制高等学校校舎等管理業務	東海ビル管理㈱		4,042,500	0	4,042,500		R6. 4. 1 ～ R7. 3.31			浜名高校外３校校舎等の戸締まり及び施錠等の確認業務	浜名高校
参考3	自家用電気工作物保安管理業務	遠鉄アシスト㈱		4,755,960	0	4,755,960		R6. 4. 1 ～ R7. 3.31			浜松城北工業高校外10校自家用電気工作物の保守管理業務	浜松城北工業高校
参考4	可燃物収集運搬処分業務	環境保全㈱		収集運搬料 1回当たり 715円 処分料 13.2円/Kg	0	収集運搬料 1回当たり 715円 処分料 13.2円/Kg		R6. 4. 8 ～ R7. 3.31			浜松大平台高校外14校可燃物収集運搬処分業務	単価契約 浜松大平台高校
参考5	プール浄化装置保守点検業務	清化工業㈱		998,800	0	998,800		R6. 4. 8 ～ R7.12.27			浜松東高校外25校プール浄化装置保守点検業務	浜松東高校
参考6	防鼠防虫業務	㈱帝装化成浜松営業所		551,100	0	551,100		R6. 4.15 ～ R7. 3.31			浜松特別支援学校外６校学校給食施設の防鼠防虫業務	浜松特別支援学校
参考7	建築基準法第12条に基づく定期点検業務	㈲山口一級建築士事務所		2,200,000	0	2,200,000		R6. 11.22 ～ R7. 3.24			浜松北地区県立学校定期点検及び点検結果資料の作成業務	浜北西高校
計		7件										

委 託 料 に 関 す る 調

（令和７年度）
（令和７年６月 30 日現在）

整理番号	委託業務名	受託者	当初設計金額	契約金額			契約締結方法	契約期間	支出年月日	金額	委託業務の内容	摘要
				当初額	変更増減額	計						
	(事務関係)		円	円	円	円				円 (1,425,600)		６長期
1	警備業務	セコム㈱	14,392,422	全体 14,256,000 令和7年度分 2,851,200	0	全体 14,256,000 令和7年度分 2,851,200	一般	R6.10. 1 ～ R11. 9.30	R7.5.30 R7.6.30 小計	237,600 237,600 475,200	浜松工業高校外 11 校事務室等機械警備業務	浜松東 浜松城北工業 浜名 浜北西 浜松湖北 浜松視覚特支 浜松聴覚特支 西部特支 浜北特支 浜松特支城北分校 浜松みをつくし特支
2	夜間定時制給食業務	㈱キッチンセンター掛川屋	11,739,864	全体 3,548,230 令和7年度分 1,182,720	0	全体 3,548,230 令和7年度分 1,182,720	随契	R5. 8. 1 ～ R8. 7.31	R7.5.30 R7.6.30 小計	(1,971,200) 98,560 98,560 197,120	夜間定時制給食業務	5 長期 随契２号（不適）
3	下水道放流水水質分析業務	㈱サンコー分析センター	99,990	99,990	0	99,990	随契	R7.5.1 ～ R8.3.31	R7.6.11 小計	12,760 12,760	下水道放流水水質分析業務	随契２号（少額）
4	排水処理施設保守管理業務	㈱イーシーテクノ	176,000	176,000	0	176,000	随契	R7.5.1 ～ R8.3.31			システム化学科実習用排水処理施設の保守管理業務	随契１号（不適）
5	産業廃棄物収集運搬及び処理業務	㈱環吉	99,000	99,000	0	99,000	随契	R7.4.21 ～ R7.7.31			産業廃棄物収集運搬･処分業務	随契１号（少額）
6	産業廃棄物収集運搬業務	日本産業廃棄物処理㈱	49,183	49,183	0	49,183	随契	R7.6.23 ～ R7.10.31			産業廃棄物（廃油）収集運搬業務	随契１号（少額）
7	産業廃棄物処理業務	三光㈱	36,916	36,916	0	36,916	随契	R7.6.23 ～ R7.10.31			産業廃棄物（廃油）処分業務	随契１号（少額）

8	産業廃棄物収集運搬業務	日本産業廃棄物処理㈱	40,590	40,590	0	40,590	随契	R7.6.23 ～ R7.10.31			産業廃棄物(バッテリー)収集運搬業務	随契1号（少額）
9	産業廃棄物処理業務	㈱エスアール	27,060	27,060	0	27,060	随契	R7.6.23 ～ R7.10.31			産業廃棄物(バッテリー)処分業務	随契1号（少額）
	事務関係計	9件								685,080		
	合計	9件								685,080		
参考1	消防用設備等保守点検業務	静岡県消防設備保守点検業協同組合		円 19,250,000	円 0	円 19,250,000		R7. 4. 1 ～ R8.3.31			浜松湖北高校外14校 消防用設備等の保守点検業務	浜松湖北高校
参考2	夜間定時制高等学校校舎等管理業務	東海ビル管理㈱		4,320,030	0	4,320,030		R7. 4. 1 ～ R8.3.31			浜名高校外3校 校舎等の戸締まり及び施錠等の確認業務	浜名高校
参考3	自家用電気工作物保安管理業務	遠鉄アシスト㈱		5,212,680	0	5,212,680		R7. 4. 1 ～ R8.3.31			浜松城北工業高校外10校 自家用電気工作物の保守管理業務	浜松城北工業高校
参考4	可燃物収集運搬処分業務	環境保全㈱		収集運搬料 1回当たり 770円 処分料 13.2円/Kg	0	収集運搬料 1回当たり 770円 処分料 13.2円/Kg		R7. 4. 7 ～ R8.3.31			浜松大平台高校外14校 可燃物収集運搬処分業務	単価契約 浜松大平台高校
参考5	プール浄化装置保守点検業務	清化工業㈱		995,500	0	995,500		R7. 4. 10 ～ R7.12.26			浜松東高校外23校 プール浄化装置保守点検業務	浜松東高校
参考6	防鼠防虫業務	㈱帝装化成浜松営業所		668,800	0	668,800		R7. 4.15 ～ R8.3.31			浜松特別支援学校外6校学校給食施設の防鼠防虫業務	浜松特別支援学校
計		6件										

補　助　金　支　出　調

（令和６年度）

整理番号	対象事業名	交付先	補助の根拠	事業の実績	総事業費	補助金額	補助率	交付決定		交付		事業完了		摘要
								年月日	金額	年月日	金額	年月日	確認年月日	
					円	円			円		円			
1	高等学校定時制の課程及び通信制の課程修学補助金	定時制生徒２名	高等学校定時制の課程及び通信制の課程修学補助金交付要綱	定時制生徒の教科書購入に対する補助及び夜食費に対する補助	45,256	45,256	県10割	R7.3.26 R7.3.26	22,628 22,628	R7.4.24 R7.4.24	22,628 22,628	R7.3.19 R7.3.19	R7.3.26 R7.3.26	
計		２件			45,256	45,256			45,256		45,256			

令和７年度　該当なし

負　担　金　支　出　調

（令和６年度）

整理番号	負担金名	交　付　先	負　担 根　拠	事　業　内　容	負担金額	支出年月日
					円	
1	研究会参加費	公益財団法人全国工業高等学校長協会	開催要項	全国工業高校長協会第75回総会・研究協議会	5,000	6.5.2
2	研究会参加費	全国高等学校長協会	開催要項	全国高等学校長協会第76回総会・研究協議会	4,000	6.5.10
3	全国高校デザイン教育研究会年会費	全国高校デザイン教育研究会理事長	全国高校デザイン教育研究会会則13条	全国のデザイン等の関連学科に関する高等学校工業教育の振興を図る	10,000	6.5.15
4	東日本高等学校土木教育研究会費	東日本高等学校土木教育研究会東海地区長	東日本高等学校土木教育研究会会則16条	東日本の高等学校における土木教育に関する研究を行い、向上改善を図る	6,000	6.5.16
5	東海四県土木教育研究会会費	東海四県土木教育研究会会長	東海四県土木教育研究会会則13条	東海地区の土木に関する高等学校工業教育の振興を図る	3,000	6.5.16
6	東日本建築教育研究会年会費	東日本建築教育研究会長	東日本建築教育研究会会則14条の1	工業教育、特に建築教育に関する研究を行い、その向上改善を図る	6,500	6.5.24
7	東海地区電気教育研究会年会費	東海地区電気教育研究会長	東海地区電気教育研究会会則14条	東海地区の電気等の関連学科に関する高等学校工業教育の振興を図る	4,000	6.6.3
8	東海地区デザイン教育研究会会費	東海地区デザイン教育研究会長	東海地区デザイン教育研究会会則14条	東海地区のデザインに関する工業教育の振興を図る	5,000	6.6.4
9	東海地区建築教育研究会年会費	東海地区建築教育研究会長	東海地区建築教育研究会会則14条	東海地区の高等学校建築教育の振興を図る	4,000	6.6.7
10	研究会参加費	全国高校デザイン教育研究会第62回全国大会運営事務局	開催要項	全国高校デザイン教育研究会第62回全国大会	5,000	6.6.24
11	研究会参加費	東海地区工業高等学校長教育研究会長	開催要項	東海地区工業高等学校長教育研究会総会	2,000	6.6.28
12	研究会参加費	全国高等学校定時制通信制教頭・副校長協会理事長	開催要項	第75回全国高等学校定時制通信制教頭・副校長協会教育研究協議会	5,000	6.7.3
13	全国情報技術教育研究会会費	全国情報技術教育研究会長	全国情報技術教育研究会会則14条	全国の情報技術等の関連学科に関する高等学校工業教育の振興を図る	5,000	6.7.4

負　担　金　支　出　調

（令和６年度）

整理番号	負担金名	交　付　先	負　担 根　拠	事　業　内　容	負担金額	支出年月日
14	研究会参加費	東海四県高等学校長生徒指導連絡協議会会長	開催要項	東海四県高等学校長生徒指導連絡協議会	円 2,000	6.7.9
15	東海地区機械教育研究会年会費	東海地区機械教育研究会長	東海地区機械教育研究会会則 13 条	東海地区の機械等の関連学科に関する高等学校工業教育の振興を図る	4,000	6.7.10
16	研究会参加費	東海地区デザイン教育研究会長	開催要項	東海地区デザイン教育研究会総会・研究大会	2,000	6.7.11
17	講習会参加費	一般社団法人日本電気協会　中部支部	労働安全衛生法	高圧・特別高圧電気取扱者安全衛生特別教育受講	20,000	6.7.24
18	高等学校等就学支援金	全日制高等学校授業料(第１期分 857 人分)	高等学校等就学支援金の支給に関する法律	高等学校に在籍する生徒の授業料に充てる	25,452,900	6.7.31
19	高等学校等就学支援金	全日制高等学校授業料(第１期分１人分)	高等学校等就学支援金の支給に関する法律	高等学校に在籍する生徒の授業料に充てる	9,900	6.7.31
20	高等学校等就学支援金	定時制高等学校授業料(第１期分 69 人分)	高等学校等就学支援金の支給に関する法律	高等学校に在籍する生徒の授業料に充てる	558,900	6.7.31
21	高等学校等就学支援金	定時制高等学校授業料(第１期分１人分)	高等学校等就学支援金の支給に関する法律	高等学校に在籍する生徒の授業料に充てる	5,400	6.7.31
22	高等学校等学び直し支援金	定時制高等学校授業料(第１期分１人分)	高等学校等修学支援事業費補助金交付要綱	高等学校に在籍する生徒の授業料に充てる	8,100	6.7.31
23	研究会参加費	全国高等学校定時制通信制教頭・副校長協会東海支部長	開催要項	全国高等学校定時制通信制教頭・副校長協会第 57 回東海支部総会	2,000	6.8.23
24	研修会参加費	全国工業高等学校長協会	開催要項	全国工業高等学校長協会第 72 回研究協議会三重大会	6,000	6.8.23
25	高等学校等就学支援金	定時制高等学校授業料(第１期分２人分)	高等学校等就学支援金の支給に関する法律	高等学校に在籍する生徒の授業料に充てる	16,200	6.8.26
26	高等学校等学び直し支援金	定時制高等学校授業料(第１期分１人分)	高等学校等修学支援事業費補助金交付要綱	高等学校に在籍する生徒の授業料に充てる	2,700	6.8.26
27	日本工業化学教育研究会会費	日本工業化学教育研究会長	日本工業化学教育研究会会則第 10 条	全国の工業化学等の関連学科に関する高等学校工業教育の振興を図る	5,000	6.9.13

負　担　金　支　出　調

（令和６年度）

整理番号	負担金名	交　付　先	負　担 根　拠	事　業　内　容	負担金額	支出年月日
28	東海工業化学教育研究会会費	東海工業化学教育研究会長	東海工業化学教育研究会会則第10条	全国の工業化学等の関連学科に関する高等学校工業教育の振興を図る	6,000	6.9.20
29	高等学校等就学支援金	全日制高等学校授業料(第2期分839人分)	高等学校等就学支援金の支給に関する法律	高等学校に在籍する生徒の授業料に充てる	41,530,500	6.10.31
30	高等学校等就学支援金	全日制高等学校授業料(第2期分1人分)	高等学校等就学支援金の支給に関する法律	高等学校に在籍する生徒の授業料に充てる	19,800	6.10.31
31	高等学校等就学支援金	定時制高等学校授業料(第2期分66人分)	高等学校等就学支援金の支給に関する法律	高等学校に在籍する生徒の授業料に充てる	891,000	6.10.31
32	高等学校等就学支援金	定時制高等学校授業料(第2期分1人分)	高等学校等就学支援金の支給に関する法律	高等学校に在籍する生徒の授業料に充てる	2,700	6.10.31
33	高等学校等就学支援金	定時制高等学校授業料(第2期分1人分)	高等学校等就学支援金の支給に関する法律	高等学校に在籍する生徒の授業料に充てる	5,400	6.10.31
34	高等学校等学び直し支援金	定時制高等学校授業料(第2期分2人分)	高等学校等修学支援事業費補助金交付要綱	高等学校に在籍する生徒の授業料に充てる	27,000	6.10.31
35	高等学校等就学支援金	定時制高等学校授業料(第2期分1人分)	高等学校等就学支援金の支給に関する法律	高等学校に在籍する生徒の授業料に充てる	13,500	6.11.25
36	高等学校等就学支援金	全日制高等学校授業料(第2期分1人分)	高等学校等就学支援金の支給に関する法律	高等学校に在籍する生徒の授業料に充てる	49,500	6.12.13
37	高等学校等就学支援金	定時制高等学校授業料(第2期分1人分)	高等学校等就学支援金の支給に関する法律	高等学校に在籍する生徒の授業料に充てる	10,800	6.12.13
38	高等学校等就学支援金	全日制高等学校授業料(第3期分839人分)	高等学校等就学支援金の支給に関する法律	高等学校に在籍する生徒の授業料に充てる	33,224,400	7.1.31
39	高等学校等就学支援金	全日制高等学校授業料(第3期分2人分)	高等学校等就学支援金の支給に関する法律	高等学校に在籍する生徒の授業料に充てる	19,800	7.1.31
40	高等学校等就学支援金	定時制高等学校授業料(第3期分67人分)	高等学校等就学支援金の支給に関する法律	高等学校に在籍する生徒の授業料に充てる	723,600	7.1.31
41	高等学校等就学支援金	定時制高等学校授業料(第3期分1人分)	高等学校等就学支援金の支給に関する法律	高等学校に在籍する生徒の授業料に充てる	2,700	7.1.31

負　担　金　支　出　調

（令和６年度）

整理番号	負担金名	交　付　先	負　担 根　拠	事　業　内　容	負担金額	支出年月日
42	高等学校等学び直し支援金	定時制高等学校授業料 (第３期分２人分)	高等学校等修学支援事業費補助金交付要綱	高等学校に在籍する生徒の授業料に充てる	21,600	7.1.31
43	高等学校等就学支援金	全日制高等学校授業料 (第３期分１人分)	高等学校等就学支援金の支給に関する法律	高等学校に在籍する生徒の授業料に充てる	△9,900	7.2.28
計		43 件			102,698,000	

負　担　金　支　出　調

（令和７年度）

（令和７年６月 30 日現在）

整理番号	負担金名	交　付　先	負　担 根　拠	事　業　内　容	負担金額	支出年月日
1	研究会参加費	公益財団法人全国工業高等学校長協会	開催要項	全国工業高校長協会第 76 回総会・研究協議会	円 5,000	7.4.25
2	東日本建築教育研究会年会費	東日本建築教育研究会長	東日本建築教育研究会会則 14 条の１	工業教育、特に建築教育に関する研究を行い、その向上改善を図る	6,500	7.5.2
3	研究会参加費	全国高等学校長協会	開催要項	全国高等学校長協会第 77 回総会・研究協議会	4,000	7.5.2
4	研究会参加費	全国定時制通信制高等学校長会	開催要項	全国定時制通信制高等学校長会　第 72 回総会・研究協議会	1,000	7.5.7
5	全国高校デザイン教育研究会年会費	全国高校デザイン教育研究会理事長	全国高校デザイン教育研究会会則 13 条	全国のデザイン等の関連学科に関する高等学校工業教育の振興を図る	10,000	7.5.8
6	講習会参加費	株式会社静岡県セイブ自動車学校	労働安全衛生法	低圧電気取扱業務特別教育受講	52,800	7.5.14
7	東海地区建築教育研究会年会費	東海地区建築教育研究会長	東海地区建築教育研究会会則 14 条	東海地区の高等学校建築教育の振興を図る	4,000	7.5.22
8	東日本高等学校土木教育研究会費	東日本高等学校土木教育研究会	東日本高等学校土木教育研究会会則 16 条	東日本の高等学校における土木教育に関する研究を行い、向上改善を図る	6,000	7.5.22
9	東海四県土木教育研究会会費	東海四県土木教育研究会	東海四県土木教育研究会会則 13 条	東海地区の土木に関する高等学校工業教育の振興を図る	3,000	7.5.22
10	東海地区デザイン教育研究会会費	東海地区デザイン教育研究会	東海地区デザイン教育研究会会則 14 条	東海地区のデザインに関する工業教育の振興を図る	5,000	7.5.26
11	講習会参加費	株式会社掛川自動車学校（掛川クレーン学校）	労働安全衛生法	ガス溶接、アーク溶接、低圧電気取扱業務特別教育受講	68,000	7.5.28
12	東海地区電気教育研究会年会費	東海地区電気教育研究会長	東海地区電気教育研究会会則 14 条	東海地区の電気等の関連学科に関する高等学校工業教育の振興を図る	4,000	7.5.29
13	研究会参加費	日本工業化学教育研究会長	開催要項	日本工業化学教育研究会第 73 回全国大会	6,000	7.6.4

負　担　金　支　出　調

（令和７年度）

（令和７年６月 30 日現在）

整理番号	負担金名	交　付　先	負　担 根　拠	事　業　内　容	負担金額	支出年月日
14	東海工業化学教育研究会会費	東海工業化学教育研究会長	東海工業化学教育研究会規約第 10 条	東海地区の高等学校工業化学教育の振興を図る	6,000	7.6.13
15	研究会参加費	東日本建築教育研究会長　山梨大会実行委員長	開催要項	第 75 回東日本建築教育研究会総会・研究協議会山梨大会	4,000	7.6.13
16	研究会参加費	東海地区機械教育研究会長	開催要項	東海地区機械教育研究会総会・研修会	1,000	7.6.17
17	研究会参加費	全国高校デザイン教育研究会第 63 回全国大会運営委員長	開催要項	全国高校デザイン教育研究会第 63 回全国大会	5,000	7.6.20
18	研究会参加費	東海地区工業高等学校長教育研究会長	開催要項	東海地区工業高等学校長教育研究会総会・研究協議会	3,000	7.6.26
計		18 件			194,300	

建　　築　　工

整理番号	予算科目	工　　事　　名	工事箇所	当初設計金額	契約金 当初額	契約金 変更増減額
				円	円	円
1	教育管理費	第１体育館厨房給湯器更新工事	浜松市中央区初生町地内	1,386,000	1,386,000	0
2	教育管理費	南館４階男子便所排水管漏水修繕他工事	浜松市中央区初生町地内	715,000	715,000	▲ 88,000
		合　計	2　件	2,101,000	2,101,000	▲ 88,000

整理番号	予算科目	工　　事　　名	工事箇所	当初設計金額	契約金 当初額	契約金 変更増減額
				円	円	円
参考1	教育管理費	浜松工業高等学校第１工場解体他工事	浜松市中央区初生町地内	59,840,000	59,840,000	▲ 9,207,000
参考2	教育管理費	浜松工業高等学校本館新築工事（建築）	浜松市中央区初生町地内	1,759,879,000	1,672,000,000	0
参考3	教育管理費	浜松工業高等学校本館新築工事（電気設備）	浜松市中央区初生町地内	317,086,000	308,000,000	▲ 6,633,000
参考4	教育管理費	浜松工業高等学校本館新築工事（機械設備）	浜松市中央区初生町地内	225,302,000	224,070,000	▲ 3,212,000
		合　計	4　件	2,362,107,000	2,263,910,000	▲ 19,052,000

令和７年度　該当なし

事　　調

（令和６年度）

金額 計	契約締結方法	受注者	着手 完成(予定) 年月日	支出済額	工事概要	公有財産台帳	摘要
円 1,386,000	随契	シンワ設備㈱	着手 R7.2.3 完成 R7.3.27	円 1,386,000	第１体育館１階厨房の給湯器を更新 給湯器３台、リモコン１個、コントローラー１個、マルチフレキセット３セット	—	随契１号(少額) 令達年月日 R6.8.20 R7.1.16 支払年月日 R7.4.15
627,000	随契	シンワ設備㈱	着手 R7.2.17 完成 R7.3.27	627,000	南館４階男子便所排水管の漏水修繕 本館１階保健室の給水配管を更新 南館系統揚水管の漏水の修繕(施工方法の変更有)	—	随契１号(少額) 令達年月日 R7.2.4 支払年月日 R7.4.15
2,013,000				2,013,000			

金額 計	契約締結方法	受注者	着手 完成(予定) 年月日	支出済額	工事概要	公有財産台帳	摘要
円 50,633,000	一般	丸友開発株式会社	着手 R6.3.5 完成 R6.10.31	円 50,633,000	解体 第１工場棟鉄骨１階建 延床面積1026.79㎡ 芸術教室棟鉄筋コンクリート造１階建 延床面積266.6㎡ 渡り廊下鉄骨１階建 延床面積62.4㎡ 渡り廊下鉄骨１階建 延床面積45.3㎡ 雨よけ通路鉄骨１階建 延床面積70.9㎡	済	本庁経理 建築工事課
1,672,000,000	一般	須山建設株式会社	着手 R6.10.11 完成 R8.2.27	0	新築 本館 鉄骨造 ４階建 延床面積 4,861㎡ 渡り廊下A 鉄骨造 ２階建 延床面積 41㎡ 渡り廊下B 鉄骨造 ２階建 延床面積 41㎡ 上記に係る建築工事一式	予	本庁経理 建築工事課
301,367,000	一般	明光電気株式気社	着手 R6.10.8 完成 R8.2.27	0	新築 本館 鉄骨造 ４階建 延床面積 4,861㎡ 渡り廊下A 鉄骨造 ２階建 延床面積 41㎡ 渡り廊下B 鉄骨造 ２階建 延床面積 41㎡ 上記に係る電気設備工事一式	予	本庁経理 設備課
220,858,000	一般	シンワ設備株式会社	着手 R6.10.4 完成 R8.2.27	0	新築 本館 鉄骨造 ４階建 延床面積 4,861㎡ 渡り廊下A 鉄骨造 ２階建 延床面積 41㎡ 渡り廊下B 鉄骨造 ２階建 延床面積 41㎡ 上記に係る機械設備工事一式	予	本庁経理 設備課
2,244,858,000				50,633,000			

公　有　財　産　調

（令和６年度）

区　　分	令和6年3月31日現在		増		減		令和7年3月31日現在		摘要
	数量又は面積	台帳価格	数量又は面積	台帳価格	数量又は面積	台帳価格	数量又は面積	台帳価格	
行政財産		千円 5,538,600		千円 2,253		千円 37,135		千円 5,503,718	
土　　地	㎡ 80,917.72	5,251,098					㎡ 80,917.72	5,251,098	
立木竹	本 586	19,201			149	4,472	本 437	14,729	
建　　物	㎡ 13,371.91 25,981.74	162,404			1,375.21 1,374.03	19,876	㎡ 11,996.70 24,607.71	142,528	
工作物	個 122	105,897	4	2,253	6	12,787	個 120	95,363	
普通財産		81,242				3,062		78,180	
土　　地	㎡ 793.97	44,012					㎡ 793.97	44,012	
立木竹	本 1	60					本 1	60	
建　　物	㎡ 178.47 589.20	37,170				3,062	㎡ 178.47 589.20	34,108	
工作物	個 5	0					個 5	0	
公有財産に準ずるもの		222						222	
電話加入権	件 6	222					件 6	222	

「 令和7年度中 増減なし 」

借　地　借　家　等　調

（令和７年６月 30 日現在）

整理番号	区分	種別	所在地	地目		数量又は面積	借料		契約期間	所有者又は契約者氏名	用途
				台帳	現況		単価	年額			
1	土地		浜松市中央区 初生町1151-3 初生町1114-4	山林	道路	㎡ 54.0 4.4	3.3㎡ 150円/月	円 30,600	自 R7.4.1 至 R8.3.31	三方原開拓防風林原野委員会	進入路
	計					58.4		30,600			
2	建物	倉庫建	浜松市中央区 初生町1150	H形鋼造、平屋建		216.00 216.00		無償	自 R6.4.1 至 R9.3.31	学校後援会長	倉庫
3	建物	倉庫建	浜松市中央区 初生町1150	ブロック造、平屋建		71.85 71.85		無償	自 R6.4.1 至 R9.3.31	学校後援会長	運動クラブ部室
4	建物	倉庫建	浜松市中央区 初生町1150	ブロック造、平屋建		39.93 39.93		無償	自 R6.4.1 至 R9.3.31	学校後援会長	体育器具庫
5	建物	雑屋建	浜松市中央区 初生町1150	鉄骨造、平屋建		87.09 87.09		無償	自 R6.4.1 至 R9.3.31	学校後援会長	アーチェリー射場･的場
6	建物	雑屋建	浜松市中央区 初生町1150	ブロック造、平屋建		46.89 46.89		無償	自 R6.4.1 至 R9.3.31	学校後援会長	部室
7	建物	倉庫建	浜松市中央区 初生町1150	平屋建		67.50 67.50		無償	自 R6.4.1 至 R9.3.31	学校後援会長	車庫
	計					529.26 529.26		0			

借　地　借　家　等　調

（令和７年６月 30 日現在）

整理番号	区分	種別	所在地	地目		数量又は面積	借料		契約期間	所有者又は契約者氏名	用途
				台帳	現況		単価	年額			
8	工作物	囲障	浜松市中央区初生町1150	コンクリート柱、クレモナネット		㎡ 53		無償	自 R6.4.1 至 R9.3.31	学校後援会長	防球ネット
9	工作物	雑工作物	浜松市中央区初生町1150	コンクリート基礎、鉄製		個 1		無償	自 R6.4.1 至 R9.3.31	学校後援会長	SBO点灯表示板･スコアボード
10	工作物	囲障	浜松市中央区初生町1150	鉄製フェンス		m 126		無償	自 R6.4.1 至 R9.3.31	学校後援会長	防矢フェンス
11	工作物	門	浜松市中央区初生町1150	鉄筋コンクリート御影石張り		個 1		無償	自 R6.4.1 至 R9.3.31	学校後援会長	南門
12	工作物	雑工作物	浜松市中央区初生町1150	1面式太陽電池時計		個 1		無償	自 R7.4.1 至 R8.3.31	久遠会長	屋外時計
13	工作物	雑工作物	浜松市中央区初生町1150	3面式太陽電池時計		個 1		無償	自 R6.4.1 至 R9.3.31	同窓会長	屋外時計
14	工作物	雑工作物	浜松市中央区初生町1150	ステンレスフレーム		個 1		無償	自 R6.4.1 至 R9.3.31	同窓会長	懸垂幕昇降装置
15	工作物	雑工作物	浜松市中央区初生町1150	ブロンズ像、御影石台座		個 1		無償	自 R6.4.1 至 R9.3.31	学校後援会長	青年の像
16	工作物	冷暖房装置	浜松市中央区初生町1150	冷暖房エアコン		個 1		7,348,339	自 R3.7.1 至R16.6.30	三井住友ファイナンス&リース㈱	普通教室用空調
17	工作物	冷暖房装置	浜松市中央区初生町1150	冷暖房エアコン		個 1		4,401,616	自 R6.7.1 至R19.6.30	NTT・TCリース㈱静岡支店	特別教室用空調
18	工作物	通風装置	浜松市中央区初生町1150	壁掛扇風機		個 1		無償	自 R7.4.1 至 R9.3.31	学校後援会長	普通教室壁掛扇風機
19	工作物	冷暖房装置	浜松市中央区初生町1150	パッケージエアコン		個 1		無償	自 R7.4.1 至 R9.3.31	学校後援会長	音楽室空調設備
計						㎡ 53 m 126 個 10		11,749,955			

事務機器等の債務負担行為又は長期継続契約に係る調

（令和６年度）

区分	事業名又は契約名	内容	契約額	（契約額の年度別内訳）					
				令和元年度	令和２年度	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度
債務・長期	県立学校施設警備委託事業費	令和元～６年度 浜松工業高等学校外10校警備業務 （契約日） 令和元年９月13日	10,164,000	円 1,016,400	円 2,032,800	円 2,032,800	円 2,032,800	円 2,032,800	円 1,016,400

（令和７年度）
（令和７年６月30日現在）

区分	事業名又は契約名	内容	契約額	（契約額の年度別内訳）						
				令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度	令和９年度	令和10年度	令和11年度
債務・長期	県立学校施設警備委託事業費	令和６～11年度 浜松工業高等学校外11校警備業務 （契約日） 令和６年９月13日	14,256,000	円	円 1,425,600	円 2,851,200	円 2,851,200	円 2,851,200	円 2,851,200	円 1,425,600
	高等学校等給食管理事業費	静岡県立浜松工業高等学校夜間定時制給食業務 （契約日） 令和５年７月31日	3,548,230	788,480	1,182,720	1,182,720	394,310			

行政財産貸付・使用許可調

（令和７年６月 30 日現在）

整理番号	区分	種別	所在地	地目		数量又は面積	貸付料又は使用料		貸付又は使用許可期間	貸付又は使用許可を受けた者の氏名	貸付･使用許可目的
				台帳	現況		単価	年額			
1	土地	学校敷地	浜松市中央区初生町 1150	学校敷地	学校敷地	本柱 6本 支柱 1本 支線 3条	1,500	15,000	R4.4.1～R9.3.31	中部電力パワーグリッド㈱浜松営業所長	電気事業
2	〃	〃	〃	〃	〃	本柱 7本 支線 1条	1,500	円 12,000	R5.4.1～R10.3.31	西日本電信電話(株)静岡支店長	通信事業
3	〃	〃	〃	〃	〃	㎡ 0.18	―	免除	R5.4.1～R10.3.31	初生町南自治会長	カーブミラー設置
4	〃	〃	〃	〃	〃	㎡ 0.25	―	免除	R7.4.1～R8.3.31	浜松市長	測量標識 水準点設置
5	建物	事務所建	〃	RC 造4階建本館		㎡ 0.01	―	免除	R7.4.1～R8.3.31	浜松市長	測量標識 基準点設置
6	〃	〃	〃	〃		㎡ 2.00	―	2,320	R7.4.1～R10.3.31	学校後援会長	自動販売機設置(2台)
7	土地	学校敷地	〃	学校敷地	学校敷地	㎡ 3.60	―	免除	R7.4.1～R12.3.31	学校後援会長	青年の像用地
8	〃	〃	〃	〃	〃	㎡ 5.41	―	免除	R7.4.1～R12.3.31	学校同窓会長	胸像･記念碑用地
9	〃	〃	〃	〃	〃	㎡ 1,681.26	―	免除	R7.4.1～R8.3.31	浜松市長	通学路 道路敷地
10	建物	事務所建	〃	RC 造4階建北館		㎡ 38.12	―	免除	R7.4.1～R12.3.31	学校同窓会長	懸垂幕昇降装置設置
11	〃	〃	〃	鉄骨造3階建体育館		㎡ 230.42	―	免除	R6.4.1～R9.3.31	学校後援会長	全日制生徒給食用厨房
12	〃	〃	〃	RC 造4階建本館		㎡ 30.60	―	免除	R6.4.1～R9.3.31	学校後援会長	購買室設置
13	土地	学校敷地	〃	学校敷地	学校敷地	㎡ 10.00	―	免除	R7.4.1～R10.3.31	学校後援会長	団体職員駐車場
	建物	事務所建	〃	RC 造4階建本館		㎡ 3.30	―	免除	R7.4.1～R10.3.31		団体職員執務場所
14	土地	学校敷地	〃	学校敷地	学校敷地	㎡ 20.00	―	免除	R7.4.1～R10.3.31	PTA会長	団体職員駐車場
	建物	事務所建	〃	RC 造4階建本館		㎡ 6.60	―	免除	R7.4.1～R10.3.31		団体職員執務場所

行政財産貸付・使用許可調

（令和７年６月 30 日現在）

整理番号	区分	種別	所在地	地目		数量又は面積	貸付料又は使用料		貸付又は使用許可期間	貸付又は使用許可を受けた者の氏名	貸付･使用許可目的
				台帳	現況		単価	年額			
15	土地	学校敷地	〃	学校敷地	学校敷地	㎡ 2.00	－	280,000	R5.4.1～R8.3.31	東海ﾋﾞﾊﾞﾚｯｼﾞｻｰﾋﾞｽ㈱浜松支店	飲料用自動販売機2台
	建物	事務所建	〃	RC 造4階建南館		㎡ 4.00	－	616,000	R5.4.1～R8.3.31		
合計								925,320			

普通財産・借受財産等貸付調

（令和７年６月 30 日現在）

整理番号	区分	種別	所在地	地目		数量又は面積	貸付料又は使用料		貸付又は使用許可期間	貸付又は使用許可を受けた者の氏名	貸付･使用許可目的
				台帳	現況		単価	年額			
1	土地	宅地	浜松市中央区三方原町256-8	住宅用地	住宅用地	㎡ 5.00	—	円 8,150	R7.4.1～R10.3.31	サーラエナジー㈱浜松供給センター	都市ガス供給
2	〃	〃	〃	〃	〃	本柱 1本	1,500	1,500	R5.4.1～R8.3.31	中部電力パワーグリッド㈱浜松営業所長	電気事業
合計								9,650			

職 員 公 舎 管 理 状 況 調

（令和７年６月 30 日現在）

整理番号	所在地	建築年月	構造	管理戸(室)数 (A)	入居戸(室)数 (B)	Bの内他事務所職員入居戸(室)数	空屋戸(室)数 (A－B)	摘要
1	浜松市中央区三方原町256-8	平成２年３月	RC造４階建１棟	8	2	1	6	他事務所入居者 浜松北高 1 空屋戸室 R2.1.1～ 1 R2.4.1～ 1 R3.4.1～ 1 R5.7.22～ 1 R7.4.1～ 2
	計			8	2	1	6	

主　要　備　品　調

（令和７年６月 30 日現在）

整理番号	区分		品名・規格	利用状況	購入年月	購入金額
	大・中	小				
1	6- 2	金属加工工作機器	レーザ加工装置 マザック製	機械実習・課題研究用 週 12 時間	平成 11 年３月	円 50,925,000
2	3- 2	顕微鏡	走査電子顕微鏡 日立 S-2380N	システム化学実習・課題研究用、週６時間	平成７年３月	29,303,500
3	5- 4	分光分析機器	分光分析機器 リガク JY138UL	システム化学実習・課題研究用、週６時間	平成８年３月	25,981,000
4	6- 2	金属加工工作機器	金属加工工作機器 豊田工機㈱GE4P-50	機械実習用 週６時間	平成８年３月	24,091,400
5	6- 2	金属加工工作機器	金属加工工作機器 レーザー加工機システム	課題研究用 週６時間	平成 14 年１月	22,857,000
6	5- 7	その他の測量機器	測量機器一式	土木実習・課題研究 週 15 時間	令和３年 10 月	21,340,000
7	5-99	試験実験機器	セラミック実習装置 電気炉　加工関連装置	システム化学実習・課題研究用、週 12 時間	平成 10 年３月	20,580,000
8	2- 1	その他の情報処理機器	情報応用実習装置一式	情報技術実習用 週 30 時間	令和２年３月	19,690,000
9	5- 4	その他の分析化学機器	その他の分析化学機器 水質分析実習装置	システム化学実習・課題研究用、週６時間	平成９年３月	19,570,000
10	6-99	その他の諸機器	その他の諸機器 新興技研 MM3000	機械実習用 週６時間	平成８年３月	19,276,244
11	2- 1	その他の情報処理機器	CAD 実習装置	建築実習・課題研究 週４時間	令和４年２月	18,469,000
12	5- 1	材料試験・計測機器	万能試験機一式	建築実習用 週９時間	令和２年３月	17,600,000
13	6- 2	金属加工工作機器	金属加工工作機器 VERTICAL CENTER SMART 430A	機械実習用 週６時間	平成 29 年３月	17,096,400
14	2- 1	その他の情報処理機器	ロボット制御実習装置	機械・情報技術実習・課題研究　週 18 時間	令和４年２月	16,940,000
15	5- 1	強度試験・計測機器	万能材料試験機本体他 コンピュータ制御方式	工業基礎実習用 週６時間	平成５年３月	16,584,000
16	5- 7	角度測量機器	測量システム パソコンネットワーク	測量実習・課題研究用 週９時間	平成 11 年３月	16,332,750
17	2- 1	パーソナルコンピュータ（一式）	自動設計製図装置 浜松工業高校用	機械実習・製図・課題研究用、週 12 時間	平成 16 年２月	16,204,553
18	2- 1	その他の情報処理機器	CAD 実習装置	土木実習・課題研究 週 15 時間	令和４年２月	16,049,000
19	5- 4	蒸留装置	精留装置 LAN システム含む	システム化学実習・課題研究用、週 15 時間	平成 10 年３月	15,942,500
20	2- 1	その他の情報処理機器	自動設計製図装置一式	機械実習用 週９時間	平成 26 年３月	14,637,000

職　　員　　調

（全日制）　　（令和７年６月 30 日現在）

整理番号	職 名	氏　　名	事務分担	住　所	勤務年数	摘　　要
1	校　長	野﨑　真司		□□□	□年□月	□□□
2	副校長	平井　光裕		□□□	□年□月	□□□
3	教　頭	秋月　竜也	美　　術	□□□	□年□月	□□□
4	事務長	夏目　清美	事務総括	□□□	□年□月	□□□
5	教　諭	加藤　佳充	保健体育	□□□	□年□月	□□□
6	〃	鈴木美登里	外 国 語	□□□	□年□月	□□□
7	〃	吉見　直樹	数　　学	□□□	□年□月	□□□
8	〃	桶田　樹理	外 国 語	□□□	□年□月	□□□
9	〃	豊田　浩一	工業(デザイン)	□□□	□年□月	□□□
10	〃	後藤　靖敏	工業(デザイン)	□□□	□年□月	□□□
11	〃	大場　浩喜	地歴公民	□□□	□年□月	□□□
12	〃	堀　　有	工業(情報)	□□□	□年□月	□□□
13	〃	杉山　雅信	工業(機械)	□□□	□年□月	□□□
14	〃	柿澤　広之	地歴公民	□□□	□年□月	□□□
15	〃	松下　房美	家　　庭	□□□	□年□月	□□□
16	〃	加藤　高明	工業(機械)	□□□	□年□月	□□□
17	〃	布川　雅規	工業(情報)	□□□	□年□月	□□□
18	〃	福井　順子	外 国 語	□□□	□年□月	□□□
19	〃	河合　晶代	外 国 語	□□□	□年□月	□□□
20	〃	外山　　潤	数　　学	□□□	□年□月	□□□
21	〃	鈴木　善之	工業(電気)	□□□	□年□月	□□□
22	〃	鈴木　志保	理　　科	□□□	□年□月	□□□
23	〃	加藤　和代	外 国 語	□□□	□年□月	□□□
24	〃	田中　滋明	数　　学	□□□	□年□月	□□□
25	〃	大浴　智三	工業(電気)	□□□	□年□月	□□□
26	〃	戸倉　弘行	国　　語	□□□	□年□月	□□□
27	〃	松本将比古	工業(情報)	□□□	□年□月	□□□
28	〃	植田　尚宏	工業(化学)	□□□	□年□月	□□□
29	〃	青木　　誠	工業(建築)	□□□	□年□月	□□□
30	〃	渋川　　努	保健体育	□□□	□年□月	□□□
31	〃	細井　治虫	工業(機械)	□□□	□年□月	□□□
32	〃	田京　伸一	外 国 語	□□□	□年□月	□□□
33	〃	鈴木　智貴	工業(土木)	□□□	□年□月	□□□
34	〃	戸苅　伸治	理　　科	□□□	□年□月	□□□
35	〃	金原　宏直	工業(機械)	□□□	□年□月	□□□

整理番号	職　名	氏　　名	事務分担	住　所	勤務年数	摘　　要
36	教　諭	中島　史就	外 国 語	□□□	□年□月	□□□
37	〃	安田　有理	工業(電気)	□□□	□年□月	□□□
38	〃	荒川　直己	工業(機械)	□□□	□年□月	□□□
39	〃	内山　幸哲	国　　語	□□□	□年□月	□□□
40	〃	井口　往彦	保健体育	□□□	□年□月	□□□
41	〃	夏目　雄介	工業(機械)	□□□	□年□月	□□□
42	〃	藤田　祐二	工業(電気)	□□□	□年□月	□□□
43	〃	稲・　　勉	保健体育	□□□	□年□月	□□□
44	〃	袴田　康行	数　　学	□□□	□年□月	□□□
45	〃	井上　　渚	保健体育	□□□	□年□月	□□□
46	〃	北村　俊樹	数　　学	□□□	□年□月	□□□
47	〃	吉田　晃朗	理　　科	□□□	□年□月	□□□
48	〃	櫻井　大介	数　　学	□□□	□年□月	□□□
49	〃	佐々木　將	外 国 語	□□□	□年□月	□□□
50	〃	村木　　智	外 国 語	□□□	□年□月	□□□
51	〃	太田　嵩子	国　　語	□□□	□年□月	□□□
52	〃	森川　芳美	地歴公民	□□□	□年□月	□□□
53	〃	加藤　　樹	工業(土木)	□□□	□年□月	□□□
54	〃	鈴木　将也	工業(建築)	□□□	□年□月	□□□
55	〃	佐々木　翼	工業(機械)	□□□	□年□月	□□□
56	〃	小林　健太	工業(情報)	□□□	□年□月	□□□
57	〃	藤田　達広	工業(デザイン)	□□□	□年□月	□□□
58	〃	青山　　恵	国　　語	□□□	□年□月	□□□
59	〃	鈴木　崇記	保健体育	□□□	□年□月	□□□
60	〃	増井　裕哉	保健体育	□□□	□年□月	□□□
61	〃	廣澤　　舞	工業(化学)	□□□	□年□月	□□□
62	〃	平松　信菜	家　　庭	□□□	□年□月	□□□
63	〃	田中　広忠	工業(土木)	□□□	□年□月	□□□
64	〃	吉川　升二	数　　学	□□□	□年□月	□□□
65	〃	杉本　憲哉	工業(化学)	□□□	□年□月	□□□
66	〃	金田　将吾	工業(建築)	□□□	□年□月	□□□
67	〃	森住　亮太	理　　科	□□□	□年□月	□□□
68	〃	琴岡　隼志	地歴公民	□□□	□年□月	□□□
69	〃	上村　寛代	国　　語	□□□	□年□月	□□□
70	〃	渡邉駿一朗	地歴公民	□□□	□年□月	□□□

整理番号	職　名	氏　　名	事務分担	住　所	勤務年数	摘　　要
71	教　諭	小笠原早織	工業(化学)	□□□	□年□月	□□□
72	〃	水野　大貴	保健体育	□□□	□年□月	□□□
73	〃	大給　麻央	工業(デザイン)	□□□	□年□月	□□□
74	〃	長南　勇輝	工業(機械)	□□□	□年□月	□□□
75	〃	菊地　昴介	数　　学	□□□	□年□月	□□□
76	〃	加藤光太郎	工業(建築)	□□□	□年□月	□□□
77	教諭(実習)	山口　　剛	工業(情報)	□□□	□年□月	□□□
78	〃	松井　克道	工業(電気)	□□□	□年□月	□□□
79	〃	山田　健二	工業(情報)	□□□	□年□月	□□□
80	〃	鬼丸　富貴	工業(デザイン)	□□□	□年□月	□□□
81	〃	大畑　　剛	工業(電気)	□□□	□年□月	□□□
82	〃	芝田みぎわ	工業(化学)	□□□	□年□月	□□□
83	〃	吉本　　敬	工業(土木)	□□□	□年□月	□□□
84	〃	伊藤　僚佑	工業(機械)	□□□	□年□月	□□□
85	養護教諭	藤井　道代	保　　健	□□□	□年□月	□□□
86	〃	新貝　里彩	保　　健	□□□	□年□月	□□□
87	主任実習助手	大石　容子	理　　科	□□□	□年□月	□□□
88	〃	髙栁　晶子	工業(デザイン)	□□□	□年□月	□□□
89	実習助手	渥美　省吾	工業(土木)	□□□	□年□月	□□□
90	〃	松浦　夕真	工業(機械)	□□□	□年□月	□□□
91	主　幹	中野　里美	庶務・会計	□□□	□年□月	□□□
92	主　査	中野　真理	庶　　務	□□□	□年□月	□□□
93	〃	平松　大典	施設・管財	□□□	□年□月	□□□
94	主　任	加藤　　優	庶務・会計	□□□	□年□月	□□□
95	主　事	高橋　可奈	庶務・会計	□□□	□年□月	□□□

（定時制）　　（令和７年６月 30 日現在）

整理番号	職　名	氏　　名	事務分担	住　所	勤務年数	摘　　要
96	教　頭	鮎京　正憲		□□□	□年□月	□□□
97	教　諭	坂本　　臣	数　　学	□□□	□年□月	□□□
98	〃	蝶野　宏明	工　　業	□□□	□年□月	□□□
99	〃	佐原　康之	工　　業	□□□	□年□月	□□□
100	〃	稲葉　　崇	工　　業	□□□	□年□月	□□□
101	〃	内山　隆康	工　　業	□□□	□年□月	□□□
102	〃	木野　貴之	工　　業	□□□	□年□月	□□□
103	〃	宇佐　駿佑	理　　科	□□□	□年□月	□□□
104	〃	増本　和真	工　　業	□□□	□年□月	□□□
105	〃	岸本　真南	国　　語	□□□	□年□月	□□□
106	教諭(実習)	馬渕　泰之	工　　業	□□□	□年□月	□□□
107	養護教諭	兼子　みき	保　　健	□□□	□年□月	□□□
108	主　査	鶴屋　陽一	庶務・会計	□□□	□年□月	□□□
平均年数						全日制５年９月、定時制４年４月

臨時職員・非常勤職員

（全日制）　　（令和７年６月30日現在）

整理番号	職　名	氏　　名	事務分担	住　所	勤務年数	摘　　要
1	教諭	鈴木　憲明	工業(化学)	□□□	□年□月	□□□
2	〃	杉山　　諭	工業(土木)	□□□	□年□月	□□□
3	〃	宮下　幹弘	工業(電気)	□□□	□年□月	□□□
4	〃	吉田　正二	工業(建築)	□□□	□年□月	□□□
5	〃	増谷　直人	工業(情報)	□□□	□年□月	□□□
6	教諭(実習)	小出　和男	工業(機械)	□□□	□年□月	□□□
7	〃	後藤　敏夫	工業(土木)	□□□	□年□月	□□□
8	〃	杉浦　　清	工業(機械)	□□□	□年□月	□□□
9	〃	山﨑　隆久	工業(化学)	□□□	□年□月	□□□
10	任期付短時間勤務教諭	大石　那智	保　　健	□□□	□年□月	□□□
11	実習助手	吉山　達也	工業(建築)	□□□	□年□月	□□□
12	〃	寺地　宏平	工業(電気)	□□□	□年□月	□□□
13	ALT	George Boulton	外 国 語	□□□	□年□月	□□□
14	非常勤講師	森田　明宏	理　　科	□□□	□年□月	□□□
15	〃	毛利智香子	音　　楽	□□□	□年□月	□□□
16	〃	二村紗也佳	工業(デザイン)	□□□	□年□月	□□□
17	〃	小林　正典	美　　術	□□□	□年□月	□□□
18	〃	大久保まゆみ	家　　庭	□□□	□年□月	□□□
19	〃	今田　久帆	外 国 語	□□□	□年□月	□□□
20	〃	大越　博之	工業(化学)	□□□	□年□月	□□□
21	〃	織田　啓介	工業(デザイン)	□□□	□年□月	□□□
22	〃	原川　元宏	工業(デザイン)	□□□	□年□月	□□□
23	〃	山本　　潤	工業(土木)	□□□	□年□月	□□□
24	〃	須山　弘久	工業(機械)	□□□	□年□月	□□□
25	〃	西出　　稔	工業(機械)	□□□	□年□月	□□□
26	〃	岡本　実月	工業(建築)	□□□	□年□月	□□□
27	ｽｸｰﾙｶｳﾝｾﾗｰ	渡瀬　美保	ｽｸｰﾙｶｳﾝｾﾗｰ	□□□	□年□月	□□□
28	部活動指導員	神ノ門　仁	部活動指導	□□□	□年□月	□□□
29	〃	杉本　　修	部活動指導	□□□	□年□月	□□□
30	〃	伊藤　佑介	部活動指導	□□□	□年□月	□□□
31	非常勤労務職員	阪口　博治	用　　務	□□□	□年□月	□□□
32	〃	玉越　永二	用　　務	□□□	□年□月	□□□
33	〃	藏脇　敏文	用　　務	□□□	□年□月	□□□
34	非常勤嘱託員	小野　幸江	Ｓ Ｓ Ｈ	□□□	□年□月	□□□
35	〃	中村　明美	就学支援金	□□□	□年□月	□□□

（全日制）

整理番号	職　名	氏　　名	事務分担	住　所	勤務年数	摘　　要
36	健康管理医・学校医	鈴木　秀樹	内　　科	□□□	□年□月	□□□
37	学校医	宮島　　勲	内　　科	□□□	□年□月	□□□
38	〃	木谷　　聡	眼　　科	□□□	□年□月	□□□
39	〃	瀧澤　義徳	耳 鼻 科	□□□	□年□月	□□□
40	学校歯科医	足立　友秀	歯　　科	□□□	□年□月	□□□
41	〃	朝比奈尚之	歯　　科	□□□	□年□月	□□□
42	学校薬剤師	小坂　和宏	薬 剤 師	□□□	□年□月	□□□

（定時制）　　（令和７年６月 30 日現在）

整理番号	職　名	氏　　名	事務分担	住　所	勤務年数	摘　　要
43	教諭(実習)	寺田　啓泰	工　　業	□□□	□年□月	□□□
44	非常勤講師	早水　有紀	地歴公民	□□□	□年□月	□□□
45	〃	関　　裕司	保健体育	□□□	□年□月	□□□
	〃	二村紗也佳	美　　術	□□□	□年□月	□□□
46	〃	稲勝まりあ	外 国 語	□□□	□年□月	□□□
	〃	大久保まゆみ	家　　庭	□□□	□年□月	□□□
47	〃	清水　隆司	工　　業	□□□	□年□月	□□□
	〃	須山　弘久	工　　業	□□□	□年□月	□□□
48	〃	増田　秀樹	工　　業	□□□	□年□月	□□□
49	〃	竹内　明美	通級指導	□□□	□年□月	□□□
50	〃	山崎　仁資	国　　語	□□□	□年□月	□□□

職　員　の　年　齢　調

（令和７年６月 30 日現在）

年　　齢	人　　員	摘　　要
２０歳未満	０人	
２０歳以上３０歳未満	１４	
３０歳以上４０歳未満	１６	
４０歳以上５０歳未満	２６	
５０歳以上５６歳未満	１６	
５６歳以上６１歳未満	２３	
６１歳以上	１３	再任用 12 人
計	１０８	平均年齢 47．2 歳

健　　康　　管　　理

1　令和６年度受診状況

区　　分	内　　容
受 診 状 況	受診者数　109 人 職 員 数　109 人
受　診　率	100.0 %
県平均受診率	100.0 %

(1) 未受診の理由

2　令和７年度在籍者の健康管理区分結果

健　康　管　理　区　分			人　数
A	休養のため必要な期間、勤務を休止させる。		（　）人
B１	勤務時間を短縮し、時間外、休日、宿日直勤務及び長期又は遠方への出張をさける。また、必要に応じ勤務場所、勤務内容の変更を行う。	要治療	（　）人
B２		要経過観察	（　）人
C１	勤務をほぼ正常に行ってよいが症状によっては、時間外、休日、宿日直勤務及び長期又は遠方への出張等勤務に制限を加える必要がある。	要治療	（　）人
C２		要経過観察	（　）人
D１	平常の勤務でよい。	要治療	34　（34）人
D２		要経過観察	26　（26）人
D３		医療不要	46　（43）人
区　分　者　計			106　（103）人
未　区　分　者　数			2　（　）人
合　　計			108　（103）人

(1) 管理区分Ａ～Ｃ２該当者に対する措置状況

該当なし

(2) 未区分の理由

ア　産休・育休　　人
イ　新規採用　　２人
ウ　自己都合による未受診　　人
エ　そ の 他
（　　）　　人